

令和 2 年度 事業計画書

公益財団法人札幌市芸術文化財団

令和2年度 事業計画書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

<趣 旨>

当財団は、札幌市の指定管理者として札幌芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌コンサートホール、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、さらに平成30年10月に開館した札幌市民交流プラザを加え、現在、市内6施設の管理運営を行っております。

令和2年度に実施する各施設の主な事業としまして、芸術の森では、サッポロ・シティ・ジャズ2020や札幌ジュニアジャズスクールの国際交流事業を実施するほか、芸術の森美術館では「蜷川実花展」などを開催します。コンサートホール Kitara は、令和2年11月2日から改修工事のため全館休館を予定しておりますが、「サー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団」など世界トップクラスのオーケストラ等による演奏会や新たな聴衆の開拓、次世代育成事業を一層推進します。教育文化会館では、文楽公演「摂州合邦辻」、能楽などの伝統芸能をはじめとする多彩な舞台公演やワークショップを実施します。指定管理2期目の初年度となる市民交流プラザでは、hitaru の舞台機構を存分に活用したオペレッタ「こうもり」やバレエ「眠れる森の美女」、最新鋭の設備を誇るクリエイティブスタジオでの演劇、ダンス公演等を開催するほか、SCARTS では展示やレクチャー、芸術文化活動への支援など多彩な事業を展開します。さらに、芸術の森、市民交流プラザ及び彫刻美術館は、札幌国際芸術祭2020の会場として、アートによる国内外への札幌の魅力発信に貢献します。

令和2年度は、当財団が長年築いてきた指定管理者としての実績をもとに財団の総合力を最大限に発揮し、施設間連携を一層充実させながら、札幌からの新しい芸術文化の創造と発信に寄与します。

<運営にあたっての基本方針>

1 財団の専門性と総合力を生かした施設運営と魅力的な事業の推進

財団が管理運営を行う各施設間で密接な連携を図りながら、多様な人材を有する財団の組織力や長年培ってきた専門性、幅広いネットワークを効果的に活用することで総合力を発揮し、利用者満足度の高い施設運営を行うとともに、多彩な芸術文化の提供や魅力的で芸術性の高い事業を展開します。

2 芸術文化体験の充実による次世代の人材育成

質の高い様々な舞台芸術や美術の体験機会をさらに充実させることにより、札幌の子どもたちの感性を醸成し、人間性豊かな心を育むことで、将来の愛好者やアーティスト等、次世代を担う人材の育成に寄与します。

3 芸術文化の拠点として人々の交流促進やまちづくりに貢献

芸術関係団体をはじめ、市民や企業、大学等との「共創」を推進する拠点として、また、芸術文化に関わる多様な人々をつなぐ場として、芸術文化活動の活性化や創造性の向上を図るとともに、情報や人材の交流を促進し、札幌の観光や産業の発展を視野に入れたまちづくりに貢献します。

令和2年度事業一覧表

〈芸術文化の創造発信と普及振興事業〉	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
I 芸術の森事業部				
1 音楽・舞台芸術事業				
(1) 札幌の文化芸術発信事業 ① サッポロ・シティ・ジャズ2020	通年		○	
(2) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業 ① 第21期札幌ジュニアジャズスクール ② 札幌芸術の森バレーセミナー ③ ユースジャムセッション ④ 北海道グループキャンプ	通年 令和2年8月12日 ～8月16日 令和2年7月23日 ～7月26日 令和3年1月～3月 令和3年3月			○
(3) 文化芸術を通じた市民活動の促進 ① パークジャズライブ ② 芸森アートマーケット	令和2年7月4日 ～7月12日 令和2年4月29日 ～9月27日			
(4) 質の高い文化芸術の創造・提供 ① ビッグバンドプロジェクト	通年			
(5) 各種団体との連携による文化芸術の振興 ① 各種団体共催・施設利用促進事業	通年			
2 札幌芸術の森美術館事業				
(1) 展覧会事業 ① みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ—線の魔術 ② 蛭川実花展 —虚構と現実の間に— ③ PIXAR のひみつ展 いのちを生みだすサイエンス ④ ムーミン展 THE ART AND THE STORY ⑤ 札幌国際芸術祭2020 Of Roots and Clouds ⑥ 札幌美術展 アフターダーク ⑦ 札幌芸術の森美術館コレクション選 ⑧ SIAF Art Park Collective (仮称)	令和2年1月25日 ～4月12日 令和2年4月25日 ～6月28日 令和2年7月18日 ～8月25日 令和2年9月12日 ～11月3日 令和2年12月19日 ～3年2月14日 令和3年2月27日 ～4月11日 令和3年2月27日 ～4月11日 令和2年4月 ～10月31日			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
(2) 野外美術館 ① ボランティアによる作品解説 ② 彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ ③ 野外美術館かんじきウォーク	令和2年4月25日 ～11月3日 通年 令和3年1月初旬 ～3月中旬			
(3) 教育普及事業 ① 佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ ② 子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」	通年			
(4) 利用促進 ① ミュージアムショップ運営及びオリジナルグッズの製作・販売	通年			
(5) 人材育成 ① ボランティア及び美術館協力員 ② 博物館実習	通年 令和2年10月13日～ 16日、19日～20日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(6) 広報活動 ① ホームページ、SNS の活用 ② 地域住民への情報提供 (7) 利用促進事業 ① サンクスデー ② グッズ販売	} 通年 令和 2 年 6 月 28 日 令和 2 年 11 月 3 日 通年			
II コンサートホール事業部				
1 音楽鑑賞事業				
(1) オーケストラシリーズ<Kitara ワールドオーケストラシリーズ> ① サー・サイモン・ラトル 指揮 ロンドン交響楽団	令和 2 年 9 月 27 日			○
(2) ソリストシリーズ<Kitara ワールドソリストシリーズ> ① カニサレス ギターリサイタル ② アレクサンドル・クニャーゼフ チェロリサイタル ③ アレクサンドル・クニャーゼフ オルガンリサイタル	令和 2 年 9 月 6 日 令和 2 年 10 月 8 日 令和 2 年 10 月 11 日			○ ○ ○
(3) 室内楽シリーズ ① ミケランジェロ弦楽四重奏団 ② 安永徹&市野あゆみ デュオ・コンサート ～ベートーヴェン ピアノとヴァイオリンのためのソナタⅡ～ ③ ガーボル・ファルカシュ ピアノリサイタル	令和 2 年 8 月 22 日 令和 2 年 10 月 17 日 令和 3 年 3 月 5 日			○ ○ ○
2 音楽普及事業				
(1) オルガン事業 ① オルガンワンコインコンサート 1) オルガンサマーナイトコンサート ② オルガンコンサートシリーズ 1) Kitara あ・ら・かると アダムさんのオルガンコンサート 2) 第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト アダム・タバイディ フェアウエルオルガンリサイタル	令和 2 年 6 月 6 日 令和 2 年 5 月 5 日 令和 2 年 8 月 23 日			
(2) 札幌オーケストラシリーズ ① Kitara あ・ら・かると きがるにオーケストラ ② Kitara のバースデー～札幌 with 安永徹&市野あゆみ ③ オペティック・ニューイヤ～オペラの名場面をあなたに	令和 2 年 5 月 3 日 令和 2 年 7 月 4 日 令和 3 年 1 月 11 日			○ ○
(3) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ ① Kitara あ・ら・かると 若い芽の音楽会	令和 2 年 5 月 4 日			
(4) Kitara ランチタイムコンサート ① ハンブルクトリオ～春風薫る、ベートーヴェン ② ワーヘリ ユーフォニアム×チューバの魅力 ③ マトリヨミン・アンサンブル	令和 2 年 5 月 23 日 令和 2 年 6 月 13 日 令和 2 年 8 月 8 日			○ ○ ○
(5) ホール開放事業 Kitara あ・ら・かると ① きがるにオーケストラ (再掲) ② スプリング・プラス～中学生スペシャル! ③ アダムさんのオルガンコンサート (再掲) ④ 若い芽の音楽会 (再掲) ⑤ 3歳からのコンサート	令和 2 年 5 月 3 日 ～5 月 5 日			
(6) その他 ① 札幌コンサートホール施設見学会 ② 利用促進事業 (0才児からの子ども向けコンサート)	令和 2 年 4 月 ～2 年 10 月 令和 2 年 10 月			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
3 教育・人材育成事業				
(1)エデュケーションプログラム				
① Kitara あ・ら・かると スプリング・プラス～中学生スペシャル！ (再掲)	令和2年5月4日			
② Kitara あ・ら・かると アダムさんのオルガンコンサート (再掲)	令和2年5月5日			
③ Kitara あ・ら・かると 3歳からのコンサート (再掲)	令和2年5月3日 ～5月5日			
④ Kitara あ・ら・かると 若い芽の音楽会 (再掲)	令和2年5月4日			
⑤ Kitara ファースト・コンサート	令和2年9月16日 ～9月18日 9月28日～30日 10月1日			
(2)アウトリーチ事業				
①専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ (市内小学校)	5月中旬 ～7月末、12月以降			
①専属オルガニストによるアウトリーチコンサート (札幌市民ギャラリー)	令和2年4月25日			○
(3)セミナー事業				
①リスト音楽院セミナー関連事業	令和3年3月5日 ～3月7日			○
1)ガーボル・ファルカシュ ピアノリサイタル (再掲)	令和3年3月5日			
2)ガーボル・ファルカシュ教授 マスタークラス	令和3年3月6日			
3)成果発表会	令和3年3月7日			
②オルガンセミナー				
1)〈札幌大谷大学・Kitara 連携事業〉パイプオルガン特別講義	令和2年6月調整中			
(4)北海道教育大学、札幌大谷大学連携事業				
① Kitara あ・ら・かると 若い芽の音楽会 (再掲)	令和2年5月4日			
②〈札幌大谷大学・Kitara 連携事業〉パイプオルガン特別講義 (再掲)	令和2年6月調整中			
(5)PMF 共催事業				
4 全国ホールとのネットワーク事業				
(1)ホール・他都市連携事業				
①ハンブルクトリオ (再掲)	令和2年5月23日			
②ワーヘリ ユーフォニアム×テューバの魅力 (再掲)	令和2年6月13日			
③マトリョミン・アンサンブル (再掲)	令和2年8月8日			
(2)札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介する				
①専属オルガニストによる公演		○		
1)サントリーホール オルガンプロムナードコンサート	令和2年6月25日			
2)水戸芸術館 パイプオルガン・プロムナード・コンサート	令和2年7月調整中			
3)ザ・シンフォニーホール オールバッハ名曲選 真夏のオルガンコンサート2020	令和2年7月25日			
(3)国内ホールとの情報交換				
①コンサートホール企画連絡会議	令和2年7月 令和3年2月	○		
5 その他事業				
(1)名義共催公演				
①内田光子 with マーラー・チェンバー・オーケストラ	令和2年11月25日			○
②札幌音楽家協議会60周年記念公演	令和3年3月21日			○
6 PR 活動の充実				
1. 広報活動				
(1)コンサートスケジュール「KitaraNEWS」の発行	} 通年			
(2)ホームページ、メールマガジン、Twitter、Instagram、ラジオ等のソーシャルメディアやマスメディアによる情報提供				
(3)新聞、音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載				
(4)地下鉄駅構内電照広告の掲出				○

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(5) 通行量が多い公共空間（地下歩行空間等）への広告掲出 (6) ホールスポンサーの獲得 (7) Kitara ギャラリーでのホール資料や収蔵品展示によるホールの魅力紹介 (8) 観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化 (9) オリジナルグッズの販売 (10) 各種団体会員へのチケット販売（札幌市労連センター、札幌商工会議所、札幌市中小企業共済センター ほか） (11) 全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、病院、飲食店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS 等の送付 2. KitaraClub との共催事業 チョ・ソングジン ピアノリサیتال	通年			
7 チケット等販売事業				
8 Kitara ボランティアとの連携				
(1) ホール見学案内 (2) Kitara ギャラリー運営補助 (3) 主催事業補助（Kitara あ・ら・かると、リスト音楽院セミナー ほか） (4) 専属オルガニストサポート（日本語レッスン・日本文化の紹介・交流等） (5) 音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行	通年			
Ⅲ 教育文化会館事業部				
1 芸術文化を創造し、発信する事業				
(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供 ① 松竹大歌舞伎 ② 人形浄瑠璃文楽 ③ 能楽なう ④ 文楽のいろは ⑤ 演劇公演「野田版 真夏の夜の夢」 (2) 札幌の舞台芸術の創造・発表事業 ① 教文演劇フェスティバル2020 ② 教文オペラ (3) 文化施設、文化団体、文化芸術 NPO との協働事業 ① 能楽鑑賞のひととき ② 人形劇フェスティバル2021-さっぽろ冬の祭典 ③ 「人形浄瑠璃2021」さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演 ④ 子ども舞踊祭 Junior Festival	令和 2 年 5 月 6 日 令和 2 年 10 月 5 日 令和 2 年 9 月 2 日 令和 2 年 5 月 2 日 令和 2 年 11 月 27 日 令和 3 年 2 月 27 日 ～ 3 月 4 日 令和 2 年 6 月 ～ 3 年 1 月 令和 2 年 4 月 12 日 令和 3 年 2 月 13 日 ～ 2 月 14 日 令和 3 年 2 月 27 日 ～ 2 月 28 日 令和 3 年 3 月 26 日			○
2 芸術文化の普及振興のため、芸術文化に対する育成・助成・支援を行う事業				
(1) 子どもたちのための文化芸術活動の支援事業 ① 子ども演劇ワークショップ ② 小・中学生のための能楽入門 ③ 夏休み子ども体験新喜劇 ④ 子どものためのオペレッタワークショップ (2) 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業 ① 教文13丁目笑劇一座 ② ダンスワークショップ ③ 子ども演劇ワークショップ（再掲）	令和 2 年 12 月 ～ 3 年 3 月 21 日 令和 2 年 7 月 28 日 ～ 7 月 29 日 令和 2 年 7 月 31 日 ～ 8 月 2 日 令和 2 年 7 月 ～ 3 年 1 月 通年 令和 2 年 6 月 ～ 3 年 3 月			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
①第64回札幌市中学校美術・書道展 ②中央区東地区連合町内会コンサート ③札幌圏大学生合同写真展	令和2年11月11日 ～11月15日 令和2年10月7日(予定) 調整中			
IV 市民交流プラザ事業部				
1 札幌文化芸術劇場に関する事業				
(1)創造事業 ①〈hitaru オペラプロジェクト〉プレ事業 プッチーニ作曲 オペラ「蝶々夫人」	令和3年2月21日			○
(2)鑑賞事業 ①ヨハン・シュトラウスⅡ世作曲 オペレッタ「こうもり」	令和2年12月13日 12月15日			
②新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」	令和2年11月14日 ～11月15日			
③ hitaru のひととき ・華麗なるディーヴァの競演	令和2年6月19日			○
・宇宙への招待(仮称)	令和2年9月19日			○
・クリスマスに贈る神秘のケルティック・コーラス(仮称)	令和2年11月23日			○
・明和電機 ナンセンス楽器祭(仮称)	令和3年1月31日			○
④共催事業の誘致 ・モーリス・ベジャール・バレエ団「バレエ・フォー・ライフ」	令和2年5月26日			○
・第2回さっぽろ落語まつり	令和2年5月29日 ～5月31日			
・ミュージカル「ミス・サイゴン」	令和2年7月3日 ～7月6日			○
(3)普及・育成事業 ①オペラ・バレエ プレイベント	調整中			
②新国立劇場バレエ団によるバレエワークショップ	調整中			
③青少年向けバレエ鑑賞事業	令和2年9月2日			
④クリエイティブスタジオ活用事業 ・クリエイティブスタジオ シネマ シリーズ(仮称)	令和2年4月18日 7月、9月、3月(調整中)			○
・Noism Company Niigata	令和2年7月2日 ～3日			○
・SIAF 連携	令和2年12月19日 20日、1月(調整中)			○
・地点「だれか、来る」	令和3年1月15日 ～16日			○
・北緯43°のリア (仮称)	令和3年2月26日 ～3月5日			○
・Creative Opera Mix	令和3年3月13日 ～3月14日			
(4)交流事業 ①プラザフェスティバル	令和2年10月			
2 札幌文化芸術交流センターに関する事業				
(1)文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業 ①ことばのいばしょ展 (仮称)	令和2年8月22日 ～9月22日			○
②++A&T SCARTS ART & TECHNOLOGY Workshop Project～ ふらふらっと	年2回(7月・3月)			
③実演芸術鑑賞事業 (仮称)	年5回程度			○
④連携事業	通年			
⑤プラザフェスティバル (再掲)	令和2年10月			
⑥さっぽろウィンターチェンジ	調整中			
⑦西2丁目地下歩道映像制作	} 通年			
⑧ SCARTS 情報発信 (インフォメーションカウンター)				

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
⑨ SCARTS ウェブ	通年			
(2) 文化芸術活動支援事業				
① SCARTS 相談サービス	通年			
② SCARTS レクチャーシリーズ	年 5 回			
③ アートコミュニケーション事業	通年			
④ 公募企画事業	令和 2 年 5 月 ～ 7 月			
⑤ 助成事業	通年			○
(3) 文化芸術に関する調査研究事業				
① 調査研究事業	} 通年			
② SCARTS レポート (活動記録集)				
3 広報・利用促進に関する事業				
(1) 広報				
① 広報誌作成と事業広報との連携強化	} 通年			
② ホームページ、SNS 等を活用した広報				
③ メディア対応とプレスリリース				
④ その他の広報制作物				
(2) 利用促進				
① 施設利用に関する営業	} 通年			
② 会員制度の運営				
③ 協賛制度の運営				

〈芸術文化を推進するための付帯事業〉

- 1 駐車場の管理運営
- 2 各種の活動及び発表の場の提供
- 3 その他公益目的事業の推進に資する事業

芸術の森事業部 令和2年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽・舞台芸術事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)サッポロ・シティ・ジャズ2020 ●(通年)第21期札幌ジュニアジャズスケール ●(通年)ビッグバンドプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●4/29～9/27 芸森アートマーケット 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/23～26 ユースジャムセッション ●7/4・5・11・12 パークジャズライブ ●8/12～16 札幌芸術の森ハレエセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/2～7 シアター・ジャズライブ等(hitaruほか) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ユースジャムセッション ●3月 北海道グループキャンプ 							
札幌芸術の森美術館事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)各種団体共催・施設利用促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●4/25 樽川実花展 一虚構と現実の間に ●4/25 みんなのミュージア ミュシヤからマンカヘー線の魔術 ●ポランテアによる野外美術館作品解説 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/28 PIXARのひみつ展 いのちを生みだすサイエンス 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/12 ムーミン展 THE ART AND THE STORY ●11/3 10/13～16・19～20 博物館美習 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/3 12/19 	<ul style="list-style-type: none"> ●2/14 ●2/27 ●3/10 	<ul style="list-style-type: none"> ●札幌国際芸術祭2020 Of Roots and Clouds ●札幌芸術の森美術館コレクション選 ●野外美術館かんじきウオーク 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)資料整理 				
工芸・工房事業	<ul style="list-style-type: none"> ●調整中 ●SIAF Artpark Collective(仮称) ●(通年)彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ ●(通年)佐藤忠良記念子どもアートワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> ●4/25 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/18 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/25 	<ul style="list-style-type: none"> ●10/3 ●11/7～8 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/7～8 ●芸師の森 地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ポランテア及び美術館協力員 ●(通年)作品の保存及び管理 					
芸術の森利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ●第20期工芸館常設展示事業 ●(通年)工芸・版画講習会事業 ●(通年)市内小学校、市民交流プラザ他市内文化施設との連携 ●(通年)広報活動 ●(通年)大宇・町内会との地域連携 ●(通年)環境負荷軽減のためのPR活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●4/29 芸森スプリングアエスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/21 ●6/27 ●7/16 ●7/23 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/25 芸森バスツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/27 ●10/3 ●10/3 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/7 芸術の森地区音楽祭 ●10/17 芸森ハロウィン 	<ul style="list-style-type: none"> ●12/6 ●12/19 	<ul style="list-style-type: none"> ●1/30 雪あかりの祭典 	<ul style="list-style-type: none"> ●3/24 ●4/22 			
彫刻美術館事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ハロー！ミュージアム ●(通年)ハロー！ミュージアム コース説明会 	<ul style="list-style-type: none"> ●6月 本郷新記念札幌彫刻賞 二次審査・授賞式 ●6月 中学生ポランテア活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/28 サンクスデー 	<ul style="list-style-type: none"> ●9月 博物館美習 ●10月 中学生職場体験 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/3 サンクスデー 	<ul style="list-style-type: none"> ●1月 本郷新記念札幌彫刻賞 授賞作品設置・除幕式 ●1/29～31 さっぽろ雪像彫刻展2021 						

コンサートホール事業部 令和2年度主催事業スケジュール

改修工事（令和2年11月2日～令和3年6月30日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽鑑賞事業	オーケストラシリーズ					27 サマー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団		25 内田 光子 with ムラマツチカ子(名義共) オークスト(名義共) 権/於(nitaru)				
	ソリストシリーズ					6 カニサレス ギター リサイタル	8 アレクサンドル・クニャーゼチエフ(リサイタル) 11 アレクサンドル・クニャーゼチエフ(リサイタル)					
	室内楽シリーズ				22 ミケランジェロ 弦楽四重奏団		17 安永 徹&市野 あゆみ チュオ.コンサート					5 札幌・カールスタット(於:札幌市教育文化会館)
	オルガンコンサート			6 オルガン・サマーナイトコンサート								
音楽普及事業	オルガンコンサート		5 Kitaro あいらつかると アダムさんのオルガンコンサート		23 アダム・タバイティ アエアウエルオルガンリサイタル							
	札幌オーケストラシリーズ		3 Kitaro あいらつかると オークスト	4 Kitaro のパースティ〜札幌 with 安永 徹&市野 あゆみ						11 オペラティック・ニューイヤ〜オペラの名場面をあなたに(於:nitaru)		
	地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ		4 Kitaro あいらつかると 若い芽の音楽会									21 札幌音楽家協議会60周年記念公演(名義共権/於:nitaru)
	ランチャタイムコンサート		23 ハンブルクトリオ〜春風薫る、ベートーヴェン	13 ワーヘリユーフォニアム×チューバの魅力	8 マトリョミン・アンサンブル							
教育・人材育成事業	ホール開放事業 Kitara あいらつかると		3-5 きがるにオーケストラ(再掲)/スプリング・ブラス〜中学生スベシャル/アダムさんのオルガンコンサート(再掲)/3歳からのコンサート(再掲)									
	エデュケーション プログラム		3-5 (再掲) Kitara あいらつかるとスプリング・ブラス〜中学生スベシャル/アダムさんのオルガンコンサート(再掲)/3歳からのコンサート(再掲)			16-18.28-30 Kitara フェアースト・コンサート	1 Kitara フェアースト・コンサート					
	アウトリーチ事業 (学校 DE カルチャー、他 事業部等連携)	25 札幌市民ギャラリー・アホール・コンサート		学校 DE カルチャー							学校 DE カルチャー	
	セミナー事業			調整中 <札幌大谷大学・Kitara 連携事業> バイブオルガン特別講義								
全国ホールネットワークの事業	地元音楽大学等との連携事業		4 Kitaro あいらつかると 若い芽の音楽会(再掲)	調整中 <札幌大谷大学・Kitara 連携事業> バイブオルガン特別講義(再掲)								
	ホール・他都市連携事業		23 ハンブルクトリオ(再掲)	13 ワーヘリユーフォニアム×チューバの魅力(再掲)	コンサートホール企業 連携会議						コンサートホール企業 連携会議	
	札幌コンサートホールが招へいする音楽家の紹介			25 サントリーホール・オルガン・プログラムコンサート	調整中 水戸芸術館 バイブオルガン・プログラムコンサート 25 サ・シンフォニーホール オールパッパ名曲選 真夏のオルガンコンサート							

教育文化会館事業部 令和2年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芸術文化を創造し、発信する事業		●5/2 文楽のいろは ●5/6 松竹大歌舞伎		●6月～1月 教文オペラ		●9/2 能楽な5	●10/5 人形浄瑠璃文楽	●11/27 演劇公演「野田版」		真夏の夜の夢		
児童で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供												●2/27-3/4 教文演劇 アエステイブル2020
札幌の舞台芸術の創造・発表事業												●2/27-28 芝居あしの座公演
文化施設・文化団体、文化芸術 NPO などの協働事業		●4/12 能楽鑑賞のひととき									●2/13-14 人形劇フェスティバル	●3/26 子ども舞踊祭
子どもたちのための文化芸術活動の支援事業				●7月～1月 子どものためのオペレッタワークショップ ●7/28-29 小・中学生のための能楽入門 ●7/31-8/2 夏休み子ども体験新喜劇					●12月～3/21 子ども演劇ワークショップ			
市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業		●(通年)教文13丁目笑劇一座		●6月～3月 ダンスワークショップ								
学校教育における芸術文化活動の支援事業		●5/16 第35回中文連演劇ワークショップ		●6/18-19 第66回高文連石狩支部演奏会			●10/13-21 第70回高文連石狩支部高校演劇発表大会 ●10/25 第72回札幌中学校音楽会					●2/6 第38回札幌市小学校児童音楽祭
将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業												
札幌市民芸術祭		●(通年)札幌市民劇場	●5/31 マンドリン音楽祭	●7/12 ギター音楽祭オーティション ●8/9 邦楽演奏会オーティション ●8/30 ギター音楽祭 ●9/15-17 新人音楽会オーティション			●10/17-18 市民合唱祭 ●10月下旬「さっぽろ市民文芸」刊行 ●12/9-13 市民美術・書道展				●1/30-31 札幌市民吹奏楽祭 ●2/4-11 市民写真展	
市民ギャラリー事業		●4/25 チェンバロコンサート ●5/16 市民ギャラリー手づくり作品市場	●7/17 カルチャーナイト2020 ●7/24-25 陶芸体験教室 ●7/25-26 七宝体験教室 ●8/4-9 高文連石狩支部美術・書道展 ●8/15-16 夏休みお絵かきワークショップ				●10/7(予定) 中央区東地区連合町内会コンサート	●11/11-15 第64回札幌中学校美術・書道展 ●11/23(予定) 市民ギャラリーウインターコンサート 教文13丁目笑劇一座出張公演			●1/14 書道11パフォーマンス ●1/16 冬休み子ども映画会 ●1/17 冬休みお絵かきワークショップ	

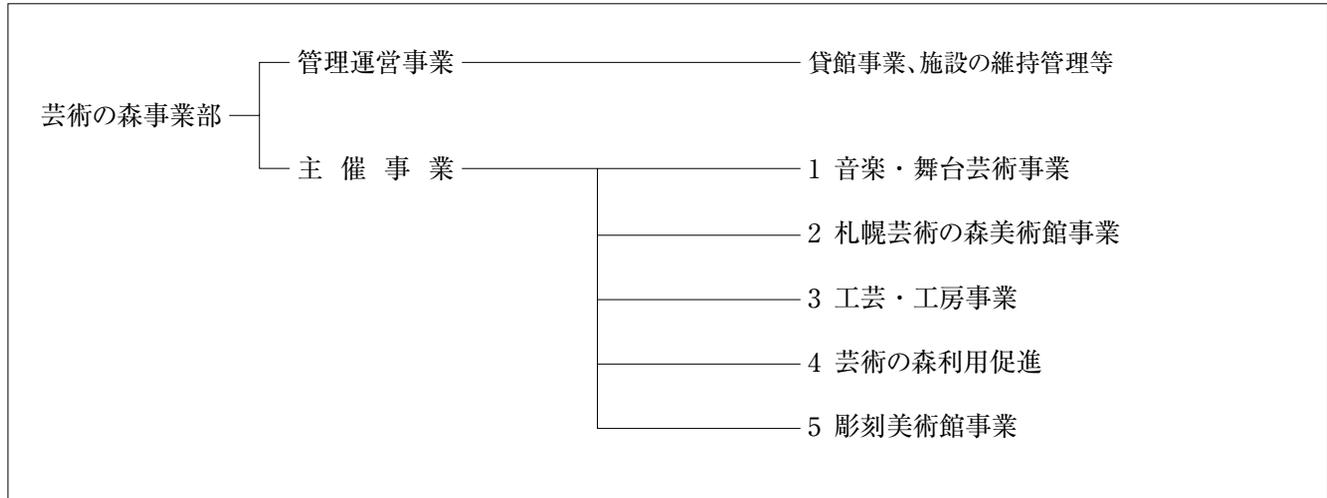
〈 詳 細 資 料 〉

1 芸術文化の創造発信と普及振興に関する事業

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

I. 芸術の森事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		平成30年度実績	令和元年度見込	令和2年度目標	
利用 状 況	芸術の森	野外美術館 観覧者数	55,938人	78,000人	50,000人
		札幌芸術の森美術館 観覧者数	91,558人	263,000人	221,000人
		総入園者数	351,955人	600,000人	520,000人
	注)各工房の講習会受講者数等は総入園者数に含まれる。				
	彫刻美術館	本館 観覧者数	10,359人	10,500人	9,000人
		記念館 観覧者数	6,600人	6,200人	6,000人
		総入館者数	16,959人	16,700人	15,000人

3. 主催事業

1 音楽・舞台芸術事業

(1) 札幌の文化芸術発信事業

① サッポロ・シティ・ジャズ2020

音楽を通して札幌の魅力を生み出し発信する取り組みとして継続実施する事業の14年目。7月は、ホテルやビアガーデン等とタイアップするステージを開催し、10月には札幌市民交流プラザを会場に、シアタージャズライブをはじめ、SCARTSコートなどの各種スタジオで、子どもやジャズ初心者、障がい者を対象とした普及ライブと市民講座としてジャズサロン、図書館との連携など、施設の機能を活かした事業を開催する。

期 日：通年（札幌市民交流プラザでの開催期間：令和2年10月2日（金）～10月7日（水））

会 場：札幌市民交流プラザ ほか

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会〔札幌市、札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団）ほか〕

(2) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

① 第21期札幌ジュニアジャズスクール

ジャズ音楽を通じた子どもたちの豊かな情操の育成を目的に、平成12年度より継続実施する事業の21年目。毎週末に定期練習を行い、定期演奏会をはじめ病院や福祉施設、地域イベント等で演奏活動を行う。道内他地域のジャズスクールとの合同合宿・演奏会などを連携して開催するほか、6月下旬にはマレーシア・クアラルンプールで開催される国際ユースジャズフェスティバル(WYJF)に参加し、国際交流活動を行う。

期 日：通年

会 場：アートホール ほか

② 札幌芸術の森バレエセミナー

次世代のバレエダンサーの育成を目的として、パリ・オペラ座の元エトワールでスペイン国立ダンスカンパニー前芸術監督のジョゼ・マルティネスを主任講師として、また同氏の人脈から形成される講師陣による世界水準のセミナーを、全国から受講者を募集して行う。

期 日：令和2年8月12日（水）～8月16日（日）

会 場：アートホール

③ ユースジャムセッション

新規

10代の中学・高校生を中心とし3年間をかけて行うジャズセッション事業の1年目。道内外の実力バンドと札幌ジュニアジャズスクール（中学生クラス）とのワークショップと発表会を芸術の森で行い、市内でアウトリーチプログラムを開催する。1月からは2年目に向け、ジャズコーラスワークショップを公募により月2回実施する。

期 日：令和2年7月23日（木・祝）～26日（日）、令和3年1月～3月

会 場：アートホールほか

④ 北海道グループキャンプ

アメリカ・ボストンのパークリー音楽大学よりタイガー大越をはじめとする現役教授陣を招聘し、同校の教育メソッドを受講できるセミナーを、全国から受講者を募集し行う。セミナー最終日には、成果発表コンサートを開催するとともに、優秀と認められる受講者を、翌年パークリー音楽大学で開催されるサマーセミナーに奨学生として参加できる「パークリー賞」を授与する。

期 日：令和3年3月

会 場：アートホール

※なお、現在申請中の補助金不採択等の場合、事業を行わないものとする。

(3)文化芸術を通じた市民活動の促進

①パークジャズライブ

市民に広く演奏活動やイベント運営の担い手の役割としての機会を与え、自らの手でイベントをつくり上げることを通じて市民文化の醸成を目的として実施する。2週にわたり4日間に市内9会場で約270組が演奏を繰り広げる。あわせて実力バンドによるコンテストを芸術の森で開催する。

期 日：令和2年7月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)

ジャズセーバーズ事業は通年

会 場：アートホール、札幌市教育文化会館、札幌駅前広場エキヒロほか

②芸森アートマーケット

芸術の森を会場に、市民アーティスト相互の交流や発表の機会の創出、また芸術の森の賑わいの創出を目的として手づくり作品によるマーケットを開催する。屋内美術館の会期や「芸森スプリングフェスタ」など園内誘客イベントにあわせた屋内会場での開催も行い、集客における相乗効果を図る。

期 日：令和2年4月29日(水・祝)～9月27日(日)5回

会 場：園内各所

(4)質の高い芸術文化の創造・提供

①ビッグバンドプロジェクト

札幌を拠点に活動するプロミュージシャンによるビッグバンドプロジェクト事業の9年目。世界的ジャズピアニストのデビッド・マシューズを音楽監督に迎え、新たに弦楽器を加え、クラシックとジャズが融合する音楽に挑む。

期 日：通年

会 場：アートホールほか

※なお、現在申請中の補助金不採択等の場合、事業を行わないものとする。

(5) 各種団体との連携による文化芸術の振興

①各種団体共催・施設利用促進事業

札幌芸術の森野外ステージやアートホールなどを会場に、イベントやコンサートを企画する団体との共催事業を実施する。運営ノウハウを伝え、コーディネートや広報のサポートを行い、市民団体の活動振興を図る。

期 日：通年

2 札幌芸術の森美術館事業

(1) 展覧会事業

① みんなのミュシャ ミュシャからマンガへ—線の魔術

新規

19世紀末のパリに彩りを加えたジャポニスム。これを背景に展開したミュシャの画業を回顧するとともに、20世紀初頭の日本における文芸誌『明星』に集った芸術家たち、また1970-80年代のマンガ家、イラストレーターらにミュシャ的耽美主義と文学性が注がれていることから、その影響関係をも探る展覧会。

期 日：令和2年1月25日(土)～4月12日(日)68日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：札幌テレビ放送株式会社、ミュシャ財団

② 蛭川実花展 —虚構と現実の間に—

新規

写真家の枠を超え、映画、デザイン、ファッションなど多彩な活動をしている蛭川実花。本展では、「虚構と現実」をテーマにアーティストの写真の本質に迫る。表現のジャンルを限定することなく時代の先端を鮮烈に示し続ける蛭川実花の作品世界を全身で体感できる。

期 日：令和2年4月25日(土)～6月28日(日)65日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：札幌テレビ放送株式会社、株式会社読売新聞社 ほか

③ PIXAR のひみつ展 いのちを生まだすサイエンス

新規

『トイ・ストーリー』、『ファインディング・ニモ』などのアニメーション制作で知られるPIXAR。本展ではモデリングやリギングといった実際のアニメーション制作のカギとなる8つの工程を、人気キャラクターを使った体験型展示を通じて紹介し、作品づくりのひみつとPIXAR 作品の魅力を解き明かす。

期 日：令和2年7月18日(土)～8月25日(火)39日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：札幌テレビ放送株式会社、株式会社ダブルス、ぴあ株式会社

④ ムーミン展 THE ART AND THE STORY

新規

ムーミンの原点である9冊の小説の挿絵原画を中心に、多様に展開する世界に浸ることができる展覧会。フィンランド・タンペレ市のムーミン美術館とムーミンキャラクターズ社が所蔵する作品を中心に、約500点の貴重なコレクションを通してムーミンの多彩な表情に迫る。

期 日：令和2年9月12日(土)～11月3日(火・祝)53日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：北海道テレビ放送株式会社、株式会社道新文化事業社 ほか

⑤ 札幌国際芸術祭2020 Of Roots and Clouds

平成26年に第1回を開催し、以後3年に1度開催する札幌国際芸術祭の第3回。札幌の特徴である寒冷的な気候や豊富な雪に加え、北方圏の文化などを取り扱い、現代アートやメディアアートの紹介などを通じて、札幌の魅力を広く国内外に発信していく。

期 日：令和2年12月19日(土)～令和3年2月14日(日)44日間

会 場：札幌芸術の森美術館、札幌芸術の森工芸館展示ホール

共 催：札幌国際芸術祭実行委員会

⑥札幌美術展 アフターダーク

新規

テーマを設定し、地域の美術家を紹介してきた「札幌美術展」。今回は、文明の発達に伴い人々が常に向き合ってきた「夜」という時間帯に焦点を当てた展覧会を開催する。都市のネオンサインや夜空に浮かぶ星、動物たちの営み、睡眠や夢の世界などをテーマとした表現活動を行う北海道および札幌の現代作家を選出・紹介。

期 日：令和3年2月27日(土)～4月11日(日)38日間

会 場：札幌芸術の森美術館

⑦札幌芸術の森美術館コレクション選

1,641点にのぼる札幌芸術の森美術館のコレクション作品から、近年新たに収蔵した作品を中心に紹介する。

期 日：令和3年2月27日(土)～4月11日(日)38日間

会 場：札幌芸術の森美術館 B 展示室

⑧SIAF Art Park Collective(仮称)

新規

令和2年12月から開催される札幌国際芸術祭。冬季開催の集客を高めるため、多数の来場者を見込める夏季の芸術の森で早期にPRを行う。

期 日：令和2年4月～10月31日(土)

会 場：札幌芸術の森工芸館展示ホール

(2) 野外美術館

①ボランティアによる作品解説

研修を積んだボランティアスタッフによる作品解説を毎日行う。定時解説のほか、事前に申し込みのあった団体やグループには、希望や所要時間等に合わせたコース組みも行う。

期 日：令和2年4月25日(土)～11月3日(火・祝)

②彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ

札幌芸術の森野外美術館の鑑賞の手引きとなる小冊子および作品をかたどったシールをマップ上に貼って楽しむブックレットを各220円で販売する。

期 日：通年

③野外美術館かんじきウォーク

野外美術館休館中の1～3月に「かんじき」を貸し出し、雪の中の彫刻鑑賞を楽しめる機会を提供する。併せて期間中の入館を無料とし、野外美術館の利用促進を図る。

期 日：令和3年1月初旬～3月中旬

(3) 教育普及事業

①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ

子どもの造形教育に尽力した佐藤忠良の精神を受け、様々なワークショップを開催。絵画などの技法を体験する講習会やアーティストを招いてのワークショップを開催するほか、予約なしで気軽に体験できるプログラムを行っている。

期 日：通年

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

②子どもの文化芸術体験事業 ハロー！ミュージアム

札幌市内の小学校及び特別支援学校小学部5年生を学校単位で札幌芸術の森(札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ)もしくは本郷新記念札幌彫刻美術館に招待し、芸術作品の鑑賞、それを踏まえた表現活動に取り組む機会を学校に提供する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、本郷新記念札幌彫刻美術館

(4) 利用促進

①ミュージアムショップ運営及びオリジナルグッズの制作・販売

展覧会関連グッズ、図録等を販売するほか、地元作家の作品を紹介、販売する。また、札幌芸術の森美術館オリジナルのグッズを製作・販売する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館ミュージアムショップ

(5) 人材育成

①ボランティア及び美術館協力員

多様な美術館活動を補佐する人材確保のため、野外作品解説ボランティア及び美術館協力員(資料整理部・教育サービス部)を養成する。

期 日：通年

②博物館実習

美術館学芸員を志す大学生を対象に、6日間にわたる博物館実習(館園実習)を実施。

期 日：令和2年10月13日(火)～16日(金)、19(月)～20日(火)

会 場：札幌芸術の森美術館

(6) 保管・整理

①作品の保存及び管理

美術館における収蔵作品の保存及びデータベース管理を行う。※野外美術館の作品も含む

期 日：通年

②資料整理

美術館における書籍等の二次資料の整理及びデータベース管理を行う。

期 日：通年

3 工芸・工房事業

(1) 展覧会事業

①第20期工芸館常設展示事業

クラフト作家の展示・販売の機会の提供や、市民が良質なクラフトに出会い、購入できる場の創造を目的に、工芸館常設展示スペースにおいて、道内クラフト作家を中心に作品を展示・販売。若手の作家を特集した企画展示なども行い、クラフト作品の魅力を発信する。

期 日：調整中(4月から11月にかけて全150日間程度)

会 場：工芸館常設展示クラフトギャラリー

②芸術の森地区文化祭

札幌市南区芸術の森地区連合町内会による文化事業。芸術の森地区まちづくりセンターと連携し、工芸館を会場に、絵画、写真、書道、工芸等、地域の方々の創作活動の発表の場となる展覧会を開催する。

期 日：令和2年11月7日(土)～8日(日)

会 場：芸術の森センターロビー

主 催：芸術の森地区連合会、芸術の森地区文化祭実行委員会〔芸術の森地区まちづくりセンター、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)ほか〕

(2) 普及事業

①工芸・版画講習会事業

各分野において、工芸と版画の制作者の拡大に繋がる技術の取得や向上を目指し、市民向けの講習会を通年で開催する。各講習会の対象者を明確にし、参加者の制作意欲を高めるとともに、生活に新たな発見や潤いを得る機会を提供する。

●一般講習会

陶芸・テキスタイル・七宝・ガラス・金工および版画の、子どもから大人向け講習会を行う。
また、木工分野では木工房利用促進のための木工相談室(工房管理職員による制作相談)を行う。

●グループ講習会

修学旅行やPTA、町内会などの団体を対象に、2時間程度でクラフト作品の制作を体験する講習会を通年開催する。

【陶 芸】各種技法による制作3コース〔たまづくり、ひもづくり(カップ)・板づくり(皿)〕、
各種絵付け1コース(小皿)

【テキスタイル】絞り染め体験2コース(バンダナ、日本手拭)

【七 宝】多色盛りによる制作2コース(キーホルダー、リーフペンダント)

【ガ ラ ス】サンドブラスト技法によるすりガラス模様つけ2コース(丸皿、タンブラー)

●ふらっとクラフト体験

事前予約不要の気軽なクラフト体験を実施(器に絵付けをしてみよう、たまづくりで器をつくろう、和紙のちぎり絵はがき、お絵かきバンダナ)。

●ワークショップ、セミナー

札幌市民交流プラザ他、市内文化施設と連携し、街中でのクラフトを中心とした入門ワークショップ、セミナーを開講することで、工芸の知識や技法に興味を持ちクラフト工房での制作体験への契機としたい。

期 日：通年

会 場：クラフト工房、染工房、織工房、木工房、版画工房、陶工房ワークショップルーム、市内各所

(3) 連携事業

①市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携

工芸・版画講習会事業プログラムを札幌市内でのアウトリーチ事業として開催。

期 日：通年

会 場：市内小学校、札幌ドーム、札幌市民交流プラザ他市内文化施設

4 芸術の森利用促進

(1) 広報活動

①ホームページ、SNSの活用

札幌芸術の森で行う展覧会や講習会等の事業、貸工房をはじめとする各施設などの情報について、ホームページやフェイスブック、インスタグラムなど SNS を活用し、積極的に情報を発信することにより PR を行う。

②ガイドマップや集客チラシの活用

広い園内をわかりやすく紹介する園内ガイドマップの作成、集客チラシの新聞折込、市内の全小学生に年2回配布する子ども向け情報紙、事業チラシの飲食店・関連施設等での配布、クラフト講習会案内の DM 発送、地域住民への情報提供等、様々な紙媒体の活用による PR を行う。

③マスコミへの情報提供、誘致活動

芸術の森の情報を掲載した「今週の芸森。」をマスコミや関係各所にインターネット等で毎週配信し、各事業でのマスコミへの働きかけとあわせ、メディアで記事として取り上げてもらうよう積極的に PR に努める。また、旅行会社や市内ホテルと連携し、MICE 事業、インバウンドツアーの誘致、修学旅行の誘致を図る。

(2) 四季を通じた集客促進事業の実施

芸術の森に気軽に足を運び、リピーターになってもらうための集客事業として、四季の移り変わりに応じ、芸術の森の特色を生かしたプログラムを企画し、継続実施する。

- 1) 芸森スプリングフェスタ[令和2年4月29日(水・祝)]
- 2) 芸森バースデー[令和2年7月25日(土)]
- 3) 芸森ハロウィン[令和2年10月17日(土)]
- 4) 雪あかりの祭典[令和3年1月30日(土)]
- 5) 謎解きイベント[令和2年4月～5月]

(3) 札幌市立大学・芸術の森地区連合町内会等との地域連携

連携協定を締結した芸術の森地区の近隣他施設との連携事業を実施し、市民交流活動の拠点としての役割を担う。

1) 札幌市立大学との事業連携

札幌市立大学と連携し、事業を行うほか、札幌駅前通地下歩行空間での PR 事業を行う。

2) シーニックバイウェイ

「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」の南区施設間連携によるスタンプラリーに会場として参加し、芸術の森の魅力発信を行うとともに新規来園者増を図る。また地域で実施する真駒内から芸術の森までの国道453号線沿いの花壇作り活動に参加し、景観美化に努める。

3) 第26回芸術の森地区文化祭(再掲)

4) 第25回芸術の森地区音楽祭[令和2年11月7日(土)]

アートホールを会場として、芸術の森地域の音楽家や小中学校等の団体が出演する音楽祭を実施。地域の方々の音楽鑑賞と交流の機会を創出する。

5) 雪あかりの祭典(再掲)

(4) 各団体との事業提携

1) 他団体との連携による事業・広報

「札幌小樽芸術文化・観光に関する連携協定」による芸術の森、ニトリ小樽芸術村、札幌観光協会、小樽観光協会のネットワークを生かした事業や広報を行う。

2) 各団体との連携による会員向け事業

新規来園者獲得を目的とし、期間限定で展覧会、講習会等を各団体の会員が特別価格で楽しめる事業を実施する。

(5) 環境負荷軽減のための PR 活動

節電と PR 活動の一環として、夏季にはグリーンカーテン等緑化活動を行い、冬季間はペレットストーブの活用によるウォームシェアへの取り組みを行う。

5 彫刻美術館事業（本郷新記念札幌彫刻美術館）

展覧会及び関連事業の開催を通じて、彫刻芸術を中心とした美術の普及、振興を図る。

(1) 展覧会事業

①所蔵品展 本郷新の歩みと芸術

本郷新が手がけた野外彫刻の石膏原型やブロンズ・木彫などの代表作、制作道具等を展示。ほかに、彫刻関連図書や本郷新の蔵書などを紹介する資料コーナーを設け、多角的に本郷新を紹介する。

期 日：平成31年4月6日（土）～令和2年4月22日（水）324日間（内、令和2年度19日間）

会 場：記念館

②所蔵品展

大通公園の《泉の像》や《わだつみのこえ》で知られる本郷新が手がけたブロンズ彫刻やテラコッタ、木彫など、代表作から隠れた優品までを多数展示するとともに、制作背景や造形の特徴を紹介する。

期 日：令和2年2月20日（木）～6月21日（日）106日間（内、令和2年度71日間）

会 場：本館

③東京2020オリ・パラ・ムーブメント醸成事業（仮称） 本郷新のレガシー【五輪の花束】 **新規**

東京オリンピックの開催に合わせ、札幌ならではのオリンピックレガシーの一つとして、本郷新のモニュメント作品に焦点をあてる。1972年の札幌オリンピックの開催に向けて整備された真駒内の五輪大橋を飾る本郷新《花束》とともに、時を同じくして設置された山内壮夫、佐藤忠良、本田明二の各作品の魅力と意義を再考し、芸術の果たす社会的な役割を探る。

期 日：令和2年4月29日（水・祝）～9月27日（日）131日間

会 場：記念館

④子ども育成事業 わくわく★アートスクール2020作品展

近隣の小学校（三角山小学校、大倉山小学校、宮の森小学校）に、アーティストを派遣し、子どもたちと作品制作を行う。その後、完成した作品を彫刻美術館に展示し、友だち同士で鑑賞するまでを一連とするアウトリーチと展覧会の要素を組み合わせた複合型事業。4回目となる今回の制作指導は、札幌ゆかりの美術家クスマエリカ（1982年-）。

期 日：令和2年6月27日（土）～7月16日（木）17日間

会 場：本館

⑤舟越桂展～ことばの森～ **新規**

北海道の美術館が所蔵する舟越桂（1951-）彫刻作品全6点を一堂に集めて紹介する初めての展覧会。詩的な響きをもつタイトルと造形の関係にも着目し、自身によるエッセイ集に収められたことばもあわせ、舟越の作品世界における「かたち」と「ことば」の関係を探る。

期 日：令和2年7月23日（木・祝）～9月27日（日）58日間

会 場：本館

⑥没後40年記念 本郷新・全部展①

札幌彫刻美術館に所蔵される本郷新の全作品を展示し、その作品世界の全貌を余すところなく伝えることを目的としたシリーズ展の第一弾。本郷新の没後40年にあたる令和2年から、彫刻美術館開館40周年にあたる令和3年にかけて、2年にわたり開催する。

全部展①では、主に本郷の彫刻、素描、油彩、版画作品を一挙に公開し、昭和を代表する彫刻家の平面作品に向けた知られざる熱意を紹介する。

期 日：令和2年10月3日（土）～12月6日（日）56日間

会 場：本館

⑦没後40年記念 本郷新・全部展②

全部展②では、若かりし頃のブロンズ彫刻を中心に本郷芸術の揺籃期に焦点を当て、ロダンや高村光太郎からの影響下での制作から、独自の作風を確立するまでをたどる。

期 日：令和2年10月3日(土)～令和3年4月22日(木)167日間(内、令和2年度148日間)

会 場：記念館

⑧札幌国際芸術祭2020 Of Roots and Clouds

新規

第3回のテーマ“Of Roots and Clouds:ここで生きようとする”に即しつつ、彫刻芸術の本質に迫り、なおかつ本郷新の現代的意義をも見出す企画を試みる。

期 日：令和2年12月19日(土)～令和3年3月24日(水)76日間

会 場：本館、記念館

共 催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市

⑨さっぽろ雪像彫刻展2021

さっぽろ雪像彫刻展実行委員会との共催で、市内の造形作家および美術・デザインを学ぶ学生が雪の彫刻作品を制作、展示する。

期 日：令和3年1月29日(金)～31日(日)

会 場：本館庭園

共 催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会

(2) 本郷新記念札幌彫刻賞

①第3回本郷新記念札幌彫刻賞二次審査・授賞式

一次審査通過者5名によるマケットから受賞作を決定する選考会を6月に開催し、授賞式を執り行う。

②第3回本郷新記念札幌彫刻賞受賞作品設置・除幕式

受賞作家には実作の制作にとりかかってもらい、令和3年1月、大通交流拠点地下広場に設置、除幕式を執り行う。

(3) 普及事業

①子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を美術館に招待する事業。令和2年度からは従来のコースを「彫美・鑑賞コース」とし、さらに粘土製作、表現に重きを置いた「彫美・表現コース」を新設する。

期 日：通年

②彫美連続講座2020

彫刻芸術への興味や関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に、研究者や実作者を講師に招いた講座を全3回開講する。

期 日：年3回

会 場：札幌市民交流プラザ SCARTS スタジオ

③美術館めぐり

札幌芸術の森と連携し、札幌芸術の森美術館、札幌市民交流プラザ、札幌彫刻美術館をバスでめぐり、各展覧会担当者の解説とともに観覧する事業。

期 日：年3回

④造形教室

創作の楽しみを味わってもらうことを目的に、大人を対象とした「大人造形教室」、小学生をおもな対象とした「子ども造形教室」を実施。デッサンや造形等の楽しさを学ぶ機会をつくる。

期 日：年3回

(4) 協力事業

①学校教育への協力

小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、中学校における職場体験、大学での調査・研究、博物館実習の受け入れなど学校教育への協力を行う。

期 日：随時

②ボランティアの受け入れ

学校、団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行う。

期 日：随時

(5) 連携事業

①地域・企業との連携

展覧会、ミュージアムコンサート、サンクスデー等の事業において、地域や地元企業と広報や施設利用、人材提供等の面で連携を行う。

期 日：随時

(6) 広報活動

①ホームページ、SNSの活用

平成30年度リニューアルしたホームページにより、札幌彫刻美術館で行う展覧会等の事業の情報のほか、本郷新に関する情報を積極的に配信する。また、ツイッターなどのSNSを活用し、こまめな情報発信によりPRを行う。

期 日：随時

②地域住民への情報提供

町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努める。

期 日：通年

(7) 利用促進

①サンクスデー

来館者への感謝として、開館記念日(6月30日)にほど近い日曜日の文化の日の観覧料を無料にし、来館促進を図るとともに、各種イベントを実施して、幅広い層に美術館に親しんでもらう。

期 日：令和2年6月28日(日)、11月3日(火・祝)

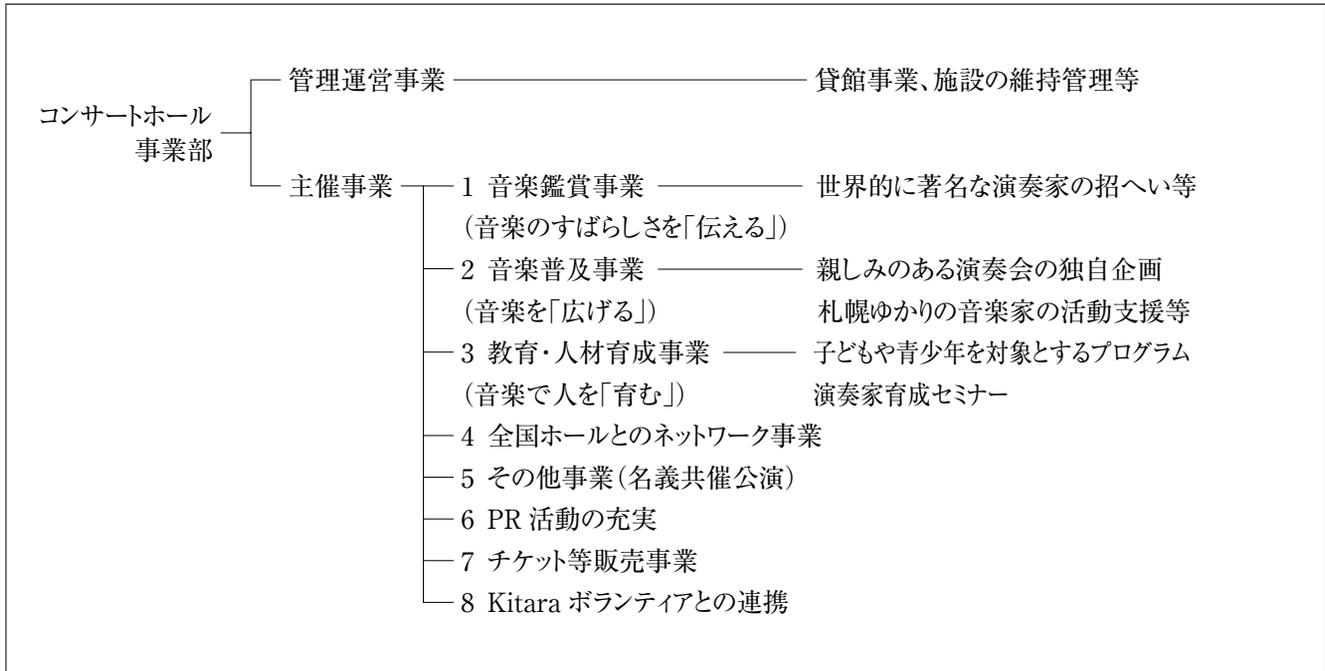
②グッズ販売

所蔵品ポストカード、過去の図録、受託商品等を販売する。

期 日：通年

Ⅱ. コンサートホール事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

利用状況			平成30年度実績	令和元年度見込	令和2年度目標 (2020年度)
	大ホール	利用率	83.9%	83.2%	87.0%
小ホール	利用率	71.9%	68.0%	77.3%	

総入場者数	343,888人	350,000人	210,000人
-------	----------	----------	----------

※令和2年11月2日～令和3年6月30日、特定天井改修工事、設備機器改修等のため休館予定。

【参考】

平成27年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：58.3% 小ホール(500席未満)：70.0%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「平成28年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

3. 主催事業

1 音楽鑑賞事業

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を活かし、市民のニーズの高い、海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による公演を企画し実施する。あわせて、全国のホールと連携し、魅力的な鑑賞事業の創造に取り組む。

(1) オーケストラシリーズ

大ホールの音響特性を活かし、<Kitara ワールドオーケストラシリーズ>として、世界的に著名なオーケストラ演奏の鑑賞機会を広く市民に提供する。

① サー・サイモン・ラトル指揮 ロンドン交響楽団

新規

ベルリン・フィルの首席指揮者と芸術監督を2018年まで務め、2017年には、母国のロンドン交響楽団音楽監督に就任したサー・サイモン・ラトルと同楽団を招へいする。

期 日：令和2年9月27日(日)

会 場：大ホール

出 演：サー・サイモン・ラトル(指揮)
ロンドン交響楽団(管弦楽)

(2) ソリストシリーズ

器楽の著名な演奏者(ソリスト)を招へいし、<Kitara ワールドソリストシリーズ>として名演奏を広く市民に紹介する。

① カニサレス ギターリサイタル

新規

フラメンコ・ギターの枠を超えクラシック界でも活躍を続けるスペイン出身で世界最高峰のギタリスト、カニサレスが Kitara に初登場する。

期 日：令和2年9月6日(日)

会 場：小ホール

出 演：カニサレス(ギター)
ファン・カルロス・ゴメス(セカンド・ギター)

② アレクサンドル・クニャーゼフ チェロリサイタル

新規

現代ロシアを代表するチェリストであり、オルガン奏者としても活動するアレクサンドル・クニャーゼフのチェロとオルガンのリサイタルを2日間開催する。

期 日：令和2年10月8日(木)

会 場：小ホール

出 演：アレクサンドル・クニャーゼフ(チェロ)

③ アレクサンドル・クニャーゼフ オルガンリサイタル

新規

期 日：令和2年10月11日(日)

会 場：大ホール

出 演：アレクサンドル・クニャーゼフ(オルガン)

(3) 室内楽シリーズ

室内楽で著名な演奏家を招へいし、小ホールの音響特性を活かした公演を実施する。室内楽の多彩な魅力を広く市民に紹介する。

① ミケランジェロ弦楽四重奏団

新規

40年以上にわたり世界のヴィオラ界をけん引してきた今井信子率いるミケランジェロ弦楽四重奏団を招へいし、ハイドンやスメタナなどの弦楽四重奏曲を紹介する。

期 日：令和2年8月22日(土)

会 場：小ホール

出 演：ミケランジェロ弦楽四重奏団

ミハエラ・マルティン(ヴァイオリン)

コンラッド・ムック(ヴァイオリン)

今井信子(ヴィオラ)

フランス・ヘルメルソン(チェロ)

② 安永徹 & 市野あゆみ デュオ・コンサート～ベートーヴェン ピアノとヴァイオリンのためのソナタⅡ～

2019年10月にデュオコンサート～ベートーヴェンシリーズの1回目が開催され好評を得た世界的ヴァイオリニスト安永徹とピアニスト市野あゆみによるシリーズ2回目のコンサートを開催する。

期 日：令和2年10月17日(土)

会 場：小ホール

出 演：安永徹(ヴァイオリン)

市野あゆみ(ピアノ)

③ ガーボル・ファルカシュ ピアノリサイタル

新規

ハンガリーのリスト音楽院で学び、第6回国際リストピアノコンクールで第1位及び聴衆賞を受賞したのち数々の国際コンクールでの受賞歴を誇る、世界的な注目を集めるピアニスト、ガーボル・ファルカシュのソロ・リサイタルを開催する。

期 日：令和3年3月5日(金)

会 場：札幌市教育文化会館小ホール

出 演：ガーボル・ファルカシュ(ピアノ)

2 音楽普及事業

札幌の貴重な音楽財産である札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し、音楽の普及を図る。

(1) オルガン事業

国内最大級のパイプオルガンと専属オルガニスト制度を活用し、さまざまな企画のコンサートを行う。

① オルガンワンコインコンサート

ワンコイン(500円)で気軽に楽しめるオルガンコンサート

1) オルガンサマーナイトコンサート

気軽に来場できる夜のオルガンワンコインコンサート

期 日：令和2年6月6日(土)

会 場：大ホール

出 演：アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

②オルガンコンサートシリーズ

1) Kitara あ・ら・かると アダムさんのオルガンコンサート

子どもや初心者でも気軽に楽しめる1時間のオルガンコンサートを行う。5歳から入場可。

期 日：令和2年5月5日(火・祝)

会 場：大ホール

出 演：アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

2) 第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト

アダム・タバイディ フェアウェルオルガンリサイタル

第21代専属オルガニスト、アダム・タバイディの1年間の任期の締めくりとなるさよなら公演を実施する。

期 日：令和2年8月23日(日)

会 場：大ホール

出 演：アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

(2) 札幌オーケストラシリーズ

ファミリー向けコンサートや Kitara のバースデー、ニューイヤーなどの公演を開催し、音楽の普及、振興を図る。

① Kitara あ・ら・かると きがるにオーケストラ

バッハ・コレギウム・ジャパンの首席指揮者として注目を集める若手指揮者、鈴木優人の指揮により、クラシック初心者も楽しめるお話つきの名曲プログラムを演奏する。

期 日：令和2年5月3日(日・祝)

会 場：大ホール

出 演：鈴木優人(指揮、お話)

中江早希(ソプラノ)

アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

札幌交響楽団(管弦楽)

② Kitara のバースデー～札幌 with 安永徹 & 市野あゆみ

新規

開館23年を迎える Kitara のバースデーを祝うコンサートは、コンサートマスターにヴァイオリニスト安永徹を迎え、ピアニスト市野あゆみをソリストに、札幌交響楽団との共演でモーツァルトのピアノ協奏曲などを演奏する。

期 日：令和2年7月4日(土)

会 場：大ホール

出 演：安永徹(コンサートマスター)

市野あゆみ(ピアノ)

札幌交響楽団(管弦楽)

③ オペラティック・ニューイヤー～オペラの名場面をあなたに

新規

札幌コンサートホール改修工事のため、Kitara のニューイヤーは会場を札幌文化芸術劇場 hitaru に移し、札幌交響楽団とともにオペラの名曲などを演奏する。

期 日：令和3年1月11日(月・祝)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：沼尻竜典(指揮)

びわ湖声楽アンサンブル(合唱)

札幌交響楽団(管弦楽) ほか

(3) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ

札幌市内で活動する演奏家、作曲家、音楽団体とともに、札幌独自の音楽公演事業を行う。魅力的な企画により、地元演奏家のさらなるレベルアップと聴衆づくりを目指す。

① Kitara あ・ら・かると 若い芽の音楽会

札幌で活動する若手演奏家によるコンサートを開催。北海道教育大学、札幌大谷大学の各校から推薦された在学・卒業生を広く市民に紹介する。

期 日：令和2年5月4日(月・祝)

会 場：小ホール

出 演：北海道教育大学、札幌大谷大学の在校生・卒業生

(4) Kitara ランチタイムコンサート

音楽の多彩な魅力を紹介するため、開催時間や内容を工夫し、親しみやすいランチタイムコンサートを開催する。

① ハンブルクトリオ～春風薫る、ベートーヴェン

新規

ドイツのハンブルクを拠点に活躍するピアノトリオ「ハンブルクトリオ」の演奏でベートーヴェンのピアノ三重奏曲を紹介する。

期 日：令和2年5月23日(土)

会 場：小ホール

出 演：ハンブルクトリオ

塩貝みつる(ヴァイオリン)

ウルリッヒ・ホルン(チェロ)

エバーハルト・ハーゼンフラッツ(ピアノ)

② ワーヘリ ユーフォニアム×テューバの魅力

新規

国内のトッププレイヤーによる金管楽器ユーフォニアムとテューバのデュオ、ワーヘリの公演を開催する。公演の前日と当日には、市内学生を対象に楽器クリニックを開催する。

期 日：令和2年6月13日(土)

会 場：小ホール

出 演：ワーヘリ

外圍祥一郎(ユーフォニアム)

次田心平(テューバ)

松本望(ピアノ)

③ マトリョミン・アンサンブル

新規

ロシアの民芸品マトリョーシカと電子楽器テルミンが融合して誕生した「マトリョミン」でアンサンブル演奏を開催する。マトリョミンの体験コーナーも予定。

期 日：令和2年8月8日(土)

会 場：小ホール

出 演：マトリョミン・アンサンブル／Mable and Da

テルミン／濱口晶生 ほか

(5) ホール開放事業 Kitara あ・ら・かると

札幌コンサートホールの各施設を使い、3日間にわたり演奏会や見学会、楽器体験などを企画する。ホールや音楽に気軽に親しんでもらうことを目的とし、地元若手音楽家とともにを行う音楽祭とする。

期 日：令和2年5月3日(日・祝)～5日(火・祝)

会 場：札幌コンサートホール全館

主な公演(再掲含む)：

- ①きがるにオーケストラ(再掲)
- ②スプリングブラス～中学生スペシャル!
- ③アダムさんのオルガンコンサート(再掲)
- ④若い芽の音楽会(再掲)
- ⑤3歳からのコンサート

(6) その他

①札幌コンサートホール施設見学会

コンサートホールのPR及びKitaraファン拡大のため施設見学会を実施する。また、普段立ち入ることのできないステージ裏や楽屋などをKitaraボランティアと一緒に紹介する。

期 日：令和2年4月～令和2年10月 2～3回開催

②利用促進事業 (0才児からの子ども向けコンサート)

コンサートに訪れる機会の少ない未就学児(乳幼児含む)及びその保護者を対象に、親子で楽しんでもらい、コンサートホールのファンを増やすことを目的としたコンサートを実施する。

期 日：令和2年10月

3 教育・人材育成事業

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施するとともに、ホールの機能を生かし、世界トップレベルの音楽セミナーやオルガンセミナーの開催により演奏家や指導者の育成に努める。

(1) エデュケーションプログラム

① Kitara あ・ら・かると スプリング・ブラス～中学生スペシャル!(再掲)

Kitara あ・ら・かるとのプログラムのひとつとして、市内中学校吹奏楽部による合同演奏会を行う。

期 日：令和2年5月4日(月・祝)

会 場：大ホール

出 演：籠谷春香(トランペット)

市内中学校吹奏楽部(市立厚別北中学校、市立清田中学校、市立中央中学校)

② Kitara あ・ら・かると アダムさんのオルガンコンサート(再掲)

③ Kitara あ・ら・かると 3歳からのコンサート(再掲)

3歳から入場できるミニコンサート。(一財)地域創造登録アーティストを中心に招へいし、親子で楽しめる親しみやすいプログラムを企画する。

期 日：令和2年5月3日(日・祝)・4日(月・祝)・5日(火・祝)

会 場：小ホール

出 演：ヴィタリ・ユシュマノフ(バリトン)

加藤文枝(チェロ)

泉真由(フルート)

松田弦(ギター) ほか

④ Kitara ファースト・コンサート

17年目を迎える教育委員会と連携して行う札幌市補助事業。札幌市内の小学6年生約15,000人に加え、令和2年度から札幌広域圏8市町村の6年生約2,500人を無料招待し、オーケストラとオルガンの名曲を鑑賞する機会を提供する。

期 日：令和2年9月16日(水)～18日(金)、28日(月)～30日(水)、10月1日(木)

会 場：大ホール

出 演：松本宗利音(指揮)

マティアス・バーメルト(指揮)

札幌交響楽団(管弦楽)

ジャン・フィリップ・メルカールト(第6代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

(2)アウトリーチ事業

①専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ等

札幌市「学校 DE カルチャー」の一環として、専属オルガニストが移動可能なポジティブオルガンとともに市内小学校等へ赴き、オルガン音楽の魅力を紹介するお出かけコンサートを開催する。また、財団他施設等にてアウトリーチコンサートを開催する。

1)学校 DE カルチャー

期 日：5月中旬～7月末、12月以降

会 場：市内小学校

2)アウトリーチコンサート

期 日：令和2年4月25日(土)

会 場：札幌市民ギャラリー

出 演：アダム・タバイディ(チェンバロ/第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

エステル・オストロシチ(ヴァイオリン)

(3)セミナー事業

世界的音楽教育機関や音楽祭、地元音楽大学等と連携し、講習会や演奏会を開催する。

①リスト音楽院セミナー関連事業

新規

例年開催しているリスト音楽院セミナーは、札幌コンサートホール改修工事のため休止するが、規模を縮小したセミナー事業を開催する。リスト音楽院教授であり現在東京音楽大学で教鞭をとるピアニスト、ガーボル・ファルカシュを招へいし、リサイタル、公開マスタークラス、成果発表会を札幌市教育文化会館小ホールで開催する。

期 日：令和3年3月5日(金)～7日(日)

会 場：札幌市教育文化会館小ホール

主 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)、リスト音楽院セミナー実行委員会(音楽大学教授ほか)

後 援：駐日ハンガリー大使館、株式会社河合楽器製作所北海道支店、日本ハンガリー友好協会

講 師：ガーボル・ファルカシュ(ピアノ)

1)ガーボル・ファルカシュ ピアノリサイタル(再掲)

2) ガーボル・ファルカシュ教授 マスタークラス

オーディションで選抜した受講生へ、ガーボル・ファルカシュによる公開マスタークラスを開催する。

期 日：令和3年3月6日(土)～7日(日) (調整中)

会 場：札幌市教育文化会館小ホール

受講生：オーディション合格者

講 師：ガーボル・ファルカシュ

3) 成果発表会

指導を受けた受講生による成果発表会を開催する。前年度のリスト音楽院セミナー最優秀受講生も参加する予定。

期 日：令和3年3月7日(日)

会 場：札幌市教育文化会館小ホール

出 演：マスタークラス参加者

第23回リスト音楽院セミナー最優秀受講生(ゲスト)

②オルガンセミナー事業

パイプオルガンを活用し、指導者と次世代の演奏家育成のためのセミナーや講習会事業を企画する。

1) パイプオルガン特別講義

地元音楽大学の学生を主な対象としたパイプオルガンについての特別講義とオルガン体験レッスンを実施。一般参加可。

期 日：令和2年6月(調整中)

会 場：大ホール、大リハーサル室

講 師：アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

(4) 北海道教育大学岩見沢校、札幌大谷大学連携事業

連携協定を締結している音楽学部を設置している地元大学と未来の音楽家を志す学生の活動を支援し広く市民に紹介する。

① Kitara あ・ら・かると 若い芽の音楽会(再掲)

②パイプオルガン特別講義(再掲)

(5) PMF 共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)の趣旨に賛同し、共催事業を行う。

期 日：令和2年7月

4 全国ホールとのネットワーク事業

(1) ホール・他都市連携事業

①ハンブルクトリオ(再掲)

②ワーヘリ ユーフォニアム×テューバの魅力(再掲)

(2) 札幌コンサートホールが招聘する音楽家を広く他都市に紹介する

① 専属オルガニストによる公演

1) サントリーホール オルガンプロムナードコンサート

期 日：令和2年6月25日(木)

会 場：サントリーホール大ホール(東京都)

主 催：公益財団法人サントリー芸術財団

出 演：アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

2) 水戸芸術館 パイプオルガン・プロムナード・コンサート

期 日：令和2年7月(調整中)

会 場：水戸芸術館エントランスホール

主 催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

出 演：アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

3) ザ・シンフォニーホール オールバッハ名曲選 真夏のオルガンコンサート2020

期 日：令和2年7月25日(土)

会 場：ザ・シンフォニーホール(大阪市)

主 催：株式会社ザ・シンフォニーホール

出 演：アダム・タバイディ(第21代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

(3) 国内ホールと広く情報交換を行う。また、共同で音楽家の招へいや公演制作を行う。

① コン서트ホール企画連絡会議

参加館：すみだトリフォニーホール、京都コンサートホール、アクロス福岡、所沢ミューズ、新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)、札幌コンサートホール

期 日：令和2年7月、令和3年2月(予定)

5 その他事業

改修工事により札幌コンサートホールが使用できないため、長年主催公演で連携関係にある団体が主催する公演について、札幌コンサートホールが名義共催する。

(1) 札幌文化芸術劇場 hitaru での名義共催公演

① 内田光子 with マーラー・チェンバー・オーケストラ

新規

期 日：令和2年11月25日(水)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：公益財団法人サントリー芸術財団

共 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)

出 演：内田光子(ピアノ)

マーラー・チェンバー・オーケストラ(管弦楽)

② 札幌音楽家協議会60周年記念公演

新規

期 日：令和3年3月21日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場 hitaru

主 催：札幌音楽家協議会

共 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)

出 演：札幌音楽家協議会会員

6 PR 活動の充実

1. 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、様々な媒体により積極的な活動を行う。

- (1) コンサートスケジュール「KitaraNEWS」の発行
- (2) ホームページ、メールマガジン、Twitter、Instagram、ラジオ等のソーシャルメディアやマスメディアによる情報提供
- (3) 新聞、音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載
- (4) 地下鉄駅構内電照広告の掲出
- (5) 通行量が多い公共空間(地下歩行空間等)への広告掲出
- (6) ホールスポンサーの獲得
- (7) Kitara ギャラリーでのホール資料や収蔵品展示によるホールの魅力紹介
- (8) 観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化
- (9) オリジナルグッズの販売
- (10) 各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連センター、札幌商工会議所、札幌市中小企業共済センターほか)
- (11) 全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、病院、飲食店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS 等の送付

2. KitaraClub との共催事業

札幌コンサートホール友の会である「KitaraClub」と共催でコンサートを開催し、より幅広い客層に向けてホールや KitaraClub の PR を行う。

チョ・ソンジン ピアノリサイタル

期 日：令和2年6月1日(月)

会 場：大ホール

出 演：チョ・ソンジン(ピアノ)

7 チケット等販売事業

札幌コンサートホールで行われるチケットの対面販売、電話予約販売のほか、インターネット販売を行い、購入しやすい環境を整える。

8 Kitara ボランティアとの連携

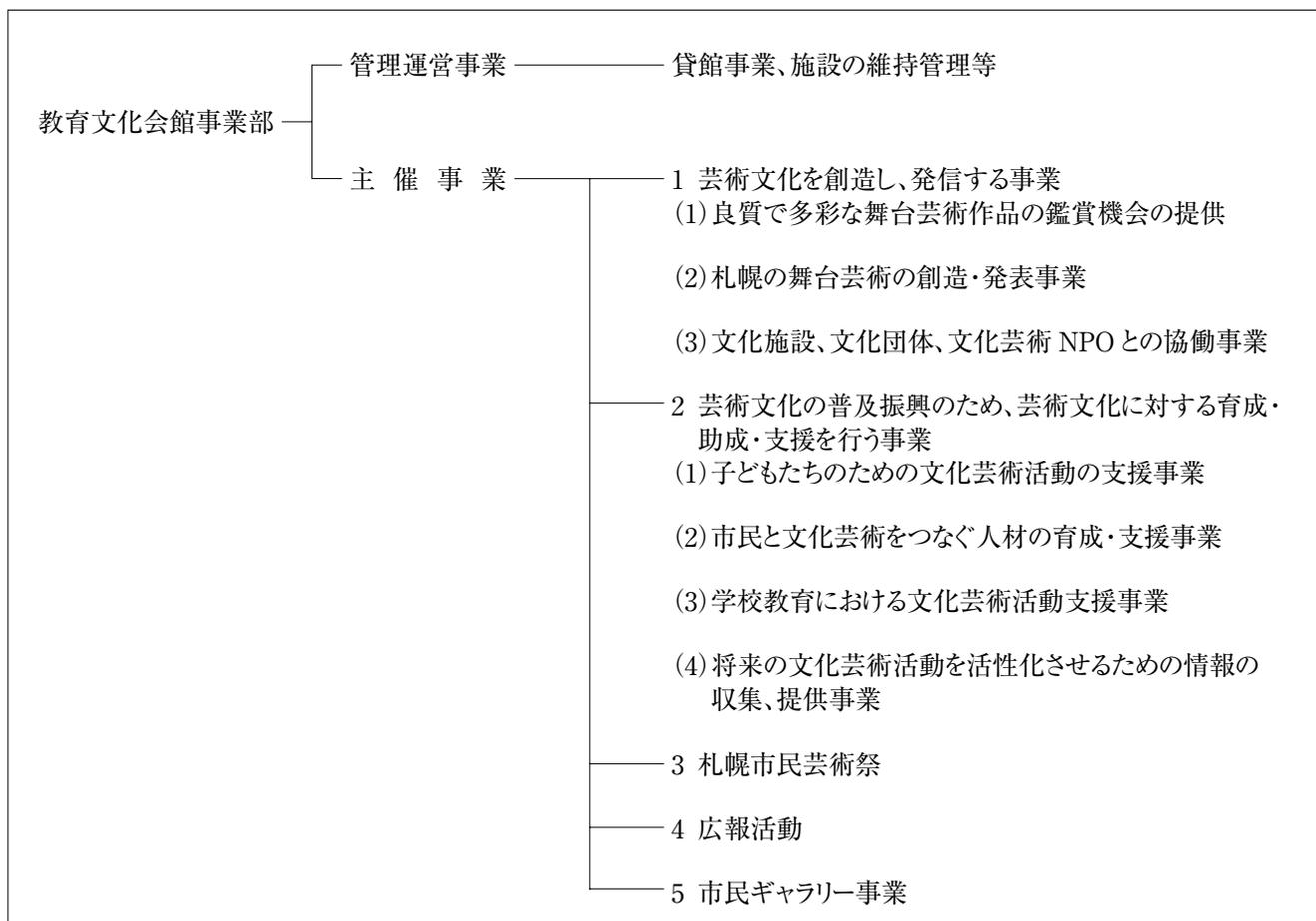
札幌コンサートホールの支援組織である「Kitara ボランティア」との連携により主催事業等の充実を図る。

人 数：80名(令和2年1月現在)

- (1) ホール見学案内
- (2) Kitara ギャラリー運営補助
- (3) 主催事業補助(Kitara あ・ら・かると、リスト音楽院セミナー ほか)
- (4) 専属オルガニストサポート(日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等)
- (5) 音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行

Ⅲ. 教育文化会館事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			平成30年度実績	令和元年度見込	令和2年度目標
利用状況	札幌市教育文化会館	大ホール 利用率	81.0%	73.9%	80.0%
		小ホール 利用率	78.8%	81.5%	82.0%
		総入場者数	587,577人	568,000人	580,000人
	市民ギャラリー	展示室 (第1～第5展示室) 利用率	84.0%	85.0%	85.0%
		総入場者数	138,313人	138,000人	135,000人

【参考】

平成27年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：58.3% 小ホール(500席未満)：70.0%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「平成28年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

3. 主催事業

1 芸術文化を創造し、発信する事業

(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

先進的な舞台芸術作品、次世代へ伝えてゆくべき伝統芸能の両面から、札幌市教育文化会館の有する舞台機構を最大限に活かした質の高い舞台芸術作品を上演する。上演にあわせ、舞台作品への理解を深めるためのレクチャー等を実施するなど鑑賞者の拡大を図る。

①松竹大歌舞伎

伝統芸能の歌舞伎の普及を目的として、(公社)全国公立文化施設協会が企画している市民に人気の高い歌舞伎の全国巡回公演を実施する。

期 日：令和2年5月6日(水・祝)2回公演

会 場：大ホール

主 催：公益社団法人全国公立文化施設協会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、株式会社道新文化事業社

演 目：「義経千本桜」「連獅子」

出 演：中村芝翫 ほか

②人形浄瑠璃文楽

日本の代表的な伝統芸能で、ユネスコ無形文化遺産にも指定されている文楽を市民に紹介する。

期 日：令和2年10月5日(月)2回公演

会 場：大ホール

演 目：昼の部「二人三番叟」「摂州合邦辻」合邦住家の段
夜の部「本朝廿四孝」十種香の段 奥庭狐火の段
「釣女」

制 作：公益財団法人文楽協会

③能楽なう

京都芸術センターとの共同企画として能楽を上演し、市内では鑑賞機会の少ない伝統芸能を紹介する。

期 日：令和2年9月2日(水)

会 場：大ホール(能舞台)

企画制作：京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)

④文楽のいろは

伝統芸能鑑賞者の裾野を広げるため、人形浄瑠璃文楽に関するセミナー、公演を行う。

期 日：令和2年5月2日(土)

会 場：小ホール

出 演：吉田和生、豊竹睦太夫、鶴澤清志郎 ほか

企画制作：一般財団法人日本伝統芸術文化財団

⑤演劇公演「野田版 真夏の夜の夢」

新規

野田秀樹の潤色、演出はルーマニアの舞台演出家、シルビウ・プルカレーテによる「野田版 真夏の夜の夢」を上演する。

期 日：令和2年11月27日(金)

会 場：大ホール

演 出：シルビウ・プルカレーテ

出 演：鈴木杏、北乃きい ほか

企画制作：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

(2)札幌の舞台芸術の創造・発表事業

札幌独自の舞台芸術作品の創造や、地元の舞台芸術創作活動を普及するための事業を行う。

①教文演劇フェスティバル2020

地元演劇関係者との協力により、教文短編演劇祭を中心に、演劇関連のワークショップ等を行い、札幌の演劇シーンの活性化に努める。また、2019年度の短編演劇祭優勝団体「空宙空地」による優勝記念公演を開催する。

期 日：令和3年2月27日(土)～3月4日(木)

会 場：大ホール、小ホール

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、教文演劇フェスティバル事務局

②教文オペラ

市内オペラ団体等と協力し、オペラ公演、コンサート、小・中学校を対象としたお届けコンサートや親子向けオペラコンサートを開催し、オペラの普及振興を図る。

期 日：令和2年6月～令和3年1月

会 場：大ホール、小ホール

(3)文化施設、文化団体、文化芸術 NPO との協働事業

①能楽鑑賞のひとつとき

札幌の能楽愛好団体による能の発表会を行う。

期 日：令和2年4月12日(日)

会 場：大ホール(能舞台)

主 催：札幌能楽会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

②人形劇フェスティバル2021ーさっぽろ冬の祭典ー

市内の人形劇サークルの合同公演や人形展などを札幌人形劇協議会、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と共催する。人形劇の魅力を広く市民に紹介するとともに、札幌における人形劇の普及・発展のため、市内の人形劇サークルが合同で大作を上演するほか、人形展を開催する。

期 日：令和3年2月13日(土)、14日(日)

会 場：小ホール

主 催：札幌人形劇協議会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

後 援：札幌市PTA協議会、札幌市小学校長会 ほか

③「人形浄瑠璃2021」さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座公演

道内唯一の人形浄瑠璃を行う団体として、人形浄瑠璃の普及に努めている「あしり座」の公演を行う。

期 日：令和3年2月27日(土)、28日(日)

会 場：小ホール

主 催：さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座

札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

④子ども舞踊祭 Junior Festival

市内の青少年と舞踊指導者の育成及び成果発表の場として児童・生徒約300人が出演するクラシックバレエ、現代舞踊の公演を札幌洋舞連盟と共催し、実施する。

期 日：令和3年3月26日(金)

会 場：大ホール

主 催：札幌洋舞連盟

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

2 芸術文化の普及振興のため、芸術文化に対する育成・助成・支援を行う事業

(1)子どもたちのための文化芸術活動の支援事業

若年層を対象に、舞台芸術との出会いとなるワークショップを開催する。現場に携わるスタッフからの指導を通して舞台芸術の制作に関わることで、将来の舞台芸術の表現者・愛好者を育成する。

①子ども演劇ワークショップ

公募による子どもの出演者が、大人の演劇関係者とともにワークショップに参加し、発表公演を行う。講師・スタッフには札幌市内の舞台芸術人材を活用する。

期 日：令和2年12月～令和3年3月21日(日)

会 場：小ホール、研修室 ほか

演出・指導：納谷真大(ELEVEN NINES)

②小・中学生のための能楽入門

小・中学生向けに能楽体験ワークショップを行い、若年層への伝統芸能の理解と普及につなげる。

期 日：令和2年7月28日(火)、29日(水)

会 場：研修室

講 師：能楽師 小倉健太郎(シテ方宝生流)

協 力：札幌宝生会

③夏休み子ども体験新喜劇

放送作家の砂川一茂を講師に迎え、子ども向け「体験新喜劇」ワークショップを行う。笑いのテクニックや新喜劇の面白さを体験し、最終日にミニ喜劇大会を行う。

期 日：令和2年7月31日(金)～8月2日(日)

会 場：研修室

講 師：砂川一茂(放送作家)

④子どものためのオペレッタワークショップ

子どもの保護者等で構成される「子どものためのオペレッタワークショップ実行委員会」が運営するオペレッタワークショップを側面から支援する。

期 日：令和2年7月～令和3年1月

会 場：小ホール、研修室 ほか

主 催：子どものためのオペレッタワークショップ実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

(2)市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業

市民を対象としたワークショップとその成果としての実演を通して、参加者が新しい創造活動と出会いを経験する。

①教文13丁目笑劇一座

一般公募の市民によって構成された喜劇団の活動を継続する。団員自ら喜劇を創作・稽古し、市内各所や高齢者施設などで無料ライブやお笑い出張公演を行い、市民が中心となって笑いの輪を広げる活動を行う。

期 日：通年

会 場：リハーサル室 ほか

②ダンスワークショップ

市民参加型のワークショップを開催する。参加者同士や講師とのグループワークによる作品づくりを通じて、自分自身の自然な身体の動きによる気付きや、他の参加者を認知し、ダンスによるコミュニケーションの可能性を探る。

期 日：令和2年6月～令和3年3月

会 場：リハーサル室 ほか

講 師：牛島有佳子、柴田詠子(ダンサー) ほか

③子ども演劇ワークショップ(再掲)

(3)学校教育に係る芸術文化活動の支援事業

舞台芸術活動の将来を担う小・中・高校生の学校教育に係る文化活動を支援し、発表の場を提供するとともに、演劇上演のためのアドバイスや技術指導を行う。

①第38回札幌市小学校児童音楽祭

札幌市の小学校における豊かな音楽活動の発展と児童の音楽を愛好する心情の育成を目的に開催する合唱と器楽の演奏会を支援する。

期 日：令和3年2月6日(土)

会 場：大ホール

主 催：北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

協 賛：一般財団法人札幌市教育協会

後 援：札幌市小学校長会、北海道音楽教育連盟

②第72回札幌市中学校音楽会

音楽活動の将来を担う中学生の育成を目的とした演奏会を支援する。各地区から選抜された出演校が、合唱、吹奏楽などの分野に分かれて日頃の成果を発表する。

期 日：令和2年10月25日(日)

会 場：大ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市中学校吹奏楽研究協議会、札幌市合唱教育研究会 ほか

③第66回高文連石狩支部演奏会

他校生徒との交流を深め、技術の向上を目指して開催する演奏会を支援する。高文連石狩支部加盟の合唱・吹奏楽・器楽管弦楽・日本音楽の4部門の参加校が日頃の成果を発表するほか、合唱、吹奏楽部門でそれぞれ合同演奏を行う。審査により全道大会出場校を推薦する。

期 日：令和2年6月18日(木)、19日(金)

会 場：大ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

④第35回中文連演劇ワークショップ

札幌市内中学校の演劇部員を対象に、演劇についての知識や表現力を磨く演劇ワークショップの開催を支援する。

期 日：令和2年5月16日(土)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中文連演劇専門委員会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

講 師：札幌市内中学校教諭 ほか

⑤第35回札幌市中文連演劇発表会

学校教育における芸術・文化活動を奨励する教育普及活動として中文連の演劇発表会を支援する。市内中学校の演劇部が日頃の成果を発表し、最優秀校2校が全道大会に出場する。

期 日：令和2年8月1日(土)～4日(火)

会 場：小ホール、リハーサル室 ほか

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市教育委員会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

⑥第70回高文連石狩支部高校演劇発表大会

高文連石狩支部の加盟各校が参加する演劇発表大会を支援する。最優秀・優秀・優良・努力各賞及び創作脚本奨励賞を選考する。最優秀校は、全道演劇発表大会に出場する。

期 日：令和2年10月13日(火)～21日(水)

会 場：小ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部演劇専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

⑦第15回北海道中学生演劇発表大会

北海道内各地区から選出された中学校が、日頃の演劇活動の成果を発表する全道大会を支援する。最優秀1校、優秀2校を選考する。最優秀校は北海道代表として全国大会へ出場する。

期 日：令和2年11月21日(土)、22日(日)

会 場：小ホール、リハーサル室 ほか

主 催：北海道中学生演劇発表大会実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：北海道中学校長会、札幌市中学校長会、札幌市中学校文化連盟 ほか

(4) 将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業

① 公立文化施設等とのネットワーク

- ・ 公立文化施設との情報の交換、収集を行い、事業に反映させる。
- ・ 一般財団法人地域創造、文化庁等を通して情報収集を行う。
- ・ 札幌市内9劇場による「札幌劇場連絡会」での情報交換を行い、札幌市が主催する「札幌アートステージ」の舞台芸術部門に参加する。

② 専門家集団との交流やメディアの活用

- ・ 主催事業を通して長年培われた芸術文化団体、アーティストなどとの交流により、各分野の情報を収集し、事業企画に反映させる。
- ・ 地元マスコミも含め、メディアを通して最新情報の収集に努め、国内外の実情を把握する。

③ アンケートの実施

主催事業の参加者、来場者に対しアンケートを実施し、催しに対する満足度を調査するとともにニーズを把握し、企画に反映させる。

3 札幌市民芸術祭

幅広い分野における市民の創造・発表活動を積極的に推進し、札幌市の芸術文化活動の振興を図ることを目的に、演奏会、展覧会、文芸誌の発行、舞台公演の企画公募など年間10事業を実施する。優れた作品発表に対して札幌市民芸術祭大賞、札幌市民芸術祭奨励賞を贈呈。札幌市長が委嘱する市内の芸術・文化関係者100名以上による10部会で実行委員会を構成し、教育文化会館事業部に事務局を置く。

主 催：札幌市民芸術祭実行委員会、札幌市、札幌市芸術文化財団

① 札幌市民劇場

札幌を拠点に、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能などの舞台芸術活動を行う個人または団体の公演やワークショップ事業の企画を公募し、「札幌市民劇場」として年間を通し開催する。企画採用団体には、助成金の交付、広報協力などを行い、市民の芸術活動を支援する。

期 日：通年

会 場：札幌市内各会場

② マンドリン音楽祭

札幌市内で活動するマンドリン団体が一堂に会し、日頃の成果を披露する演奏会を開催する。独奏・重奏の部、学生団体合同合奏の部、学生団体・社会人団体合同合奏の部の3部構成で、多様なプログラムを展開する。開演前のプレコンサートや楽器展示も行い、マンドリンの魅力を市民に紹介する。

期 日：令和2年5月31日(日)

会 場：大ホール

③ ギター音楽祭

オーディションにより選抜されたクラシックギタリストが競演する演奏会を開催する。独奏、重奏、合奏の3部門で、小学生から一般まで幅広い年齢の市民が参加する。来場者の関心を高めるため、ゲストによる演奏や開演前のプレコンサートを併せて行い、優れた演奏を披露する。

期 日：オーディション 令和2年7月12日(日)

演奏会 令和2年8月30日(日)

会 場：大ホール

④市民合唱祭

秋の合唱祭として市民に親しまれ、毎年120団体以上、約3,000人の出演者が集い、熱気あふれる合唱祭を開催する。第1部は一般・職場・学生などのコーラスグループ、第2部はPTAなどのコーラスグループを対象に開催する。

期 日：第2部 令和2年10月17日(土)

第1部 令和2年10月18日(日)

会 場：大ホール

⑤さっぽろ市民文芸

随筆、小説、詩、評論、短歌、俳句、川柳、児童文学、戯曲・脚本の9部門を対象に市民の文芸作品を公募し、総合文芸誌「さっぽろ市民文芸」として刊行する。併せて、優秀作品の表彰や記念講演のほか、作品選考委員と参加者が語り合い交流を深める「さっぽろ市民文芸の集い」を開催する。

期 日：「さっぽろ市民文芸」第37号刊行 令和2年10月下旬

さっぽろ市民文芸の集い 令和2年11月28日(土)

会 場：研修室303～305、402、403(さっぽろ市民文芸の集い)

⑥新人音楽会

札幌市を中心に音楽活動を行い、将来の活躍が期待される若手のクラシック音楽家を対象に、ピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲の4部門でオーディションを行い、選抜された優秀な演奏・作品による演奏会を開催する。また、来場者投票によるオーディエンス賞の授与を実施する。

期 日：オーディション 令和2年9月15日(火)～17日(木)3日間

演奏会 令和2年11月3日(火・祝)

会 場：大ホール

⑦邦楽演奏会

札幌市を中心に活動する邦楽演奏家による三曲(箏、三絃、尺八)の独奏、合奏の演奏会を開催する。出演者はオーディションにより決定する。

期 日：オーディション 令和2年8月9日(日)

演奏会 令和2年11月15日(日)

会 場：小ホール

⑧市民美術・書道展

市民による美術(油彩画、水彩画、日本画、版画、その他)と書道(漢字、かな、近代詩文書、墨象、篆刻、刻字)の作品を公募し展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和2年12月9日(水)～13日(日)5日間

会 場：札幌市民ギャラリー 第1～第5展示室

⑨札幌市民吹奏楽祭

市内の小学校、中学校、高校、大学、職場・一般の吹奏楽団体が一堂に会し、日頃の成果を発表するとともに吹奏楽の魅力を市民に紹介する演奏会を開催する。約70団体による演奏を通じた幅広い交流が行われる。

期 日：令和3年1月30日(土)、31日(日)2日間

会 場：大ホール

⑩市民写真展

市民が撮影した作品を公募し、写真の多様な世界を紹介する展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和3年2月4日(木)～11日(木・祝)7日間(2月8日(月)は休館日)

会 場：4階ギャラリー

4 広報活動

①ホームページ活用による広報

ホームページを活用して、施設利用、主催事業に関する情報提供を行う。紙媒体の情報誌と連動した内容を工夫するとともに、施設の仮予約、事業参加申込みや、各種問い合わせに対応するなど、インターネットによるサービス向上を図る。

②情報誌の編集、発行

「人と芸術と社会をつなぐ」をコンセプトに、地域と人をクローズアップした情報誌を編集するとともに、若者向けのデザインで舞台芸術をジャンル別に紹介する告知ペーパーを作成する。

情報誌「楽」(A4版冊子、年3回発行)「act」(変形サイズリーフレット、年3回発行)。

③メディアを通じた情報提供及び広告等

新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネット媒体など様々なメディアへの情報提供を行い、施設や事業について市民に広報するほか、マスコミ各社と事業提携を図り、主催事業の告知を新聞、テレビ等を活用しPRする。

④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進

チラシ配布、ポスターの掲出、各事業部「友の会」会員へのダイレクトメール送付・チケット優待などを継続し、相互の広報・販売促進に取り組む。

⑤案内、プレイガイド、物販

教育文化会館1階ロビーのプレイガイドにおいて、館内施設や催しの案内業務を行うとともに、主催事業や市内の各種舞台公演のチケットを販売し、市民へのサービス向上を図る。

⑥教文☆ナビ

教育文化会館に対する市民の関心や親しみを喚起することを目的とし、施設の機能を活用した体験型事業を行う。また、空き施設の有効活用やウォームシェアへの取り組みも兼ねて、雪まつり期間中など年間2回程度実施する。

5 市民ギャラリー事業

①市民ギャラリー美術映画会

大画面による迫力ある映像を通じて多様で魅力的な美術作品を鑑賞する場および芸術情報を提供し、気軽にアートに触れる環境を創出する。1984年から毎年継続しており、恒例事業として広く市民に親しまれている。

期 日：年10回開催予定

会 場：展示室

②チェンバロコンサート

Kitara 専属オルガニストによるチェンバロコンサートを開催する。

期 日：令和2年4月25日(土)

会 場：第1展示室

③市民ギャラリー手づくり作品市場

美術・工芸・手芸など様々なジャンルのアート作品を発表・販売する場を、天候に左右されない屋内で提供。例年、多くの集客が見込める展覧会に合わせて開催しており、地域の街づくり、交流に寄与している。

期 日：令和2年5月16日(土)

会 場：1階ロビー

④カルチャーナイト2020

札幌市全域で公共施設や文化施設などを夜間開放して市民が地域の文化を楽しむ「カルチャーナイト」に参加し、市民ギャラリーならではの趣向を凝らして実施する。

期 日：令和2年7月17日(金)

会 場：1階ロビー他

⑤市民ギャラリーワークショップ

市民ギャラリーで展覧会を主催する団体と協力し、子どもや初心者でも気軽に参加できる工芸等の講習会を開催するほか、ギャラリーにちなみ「お絵かき」をテーマとした独自のワークショップを、主に夏休み・冬休み期間に実施し、子どもたちの参加を促進する。

期 日：陶芸体験教室 令和2年7月24日(金・祝)、25日(土)

七宝体験教室 令和2年7月25日(土)、26日(日)

夏休みお絵かきワークショップ 令和2年8月15日(土)、16日(日)

冬休みお絵かきワークショップ 令和3年1月17日(日)

会 場：展示室

⑥教文13丁目笑劇一座出張公演

市民参加型喜劇事業である教文13丁目笑劇一座の出張公演を開催する。公募で集まった出演者が稽古を重ね、その成果を教育文化会館小ホールのほか、高齢者施設等市内各所で発表しており、2010年より施設間連携事業として市民ギャラリーにおいても開催し、地域に笑いを届けている。

期 日：令和2年11月23日(月・祝)予定

会 場：展示室

⑦市民ギャラリーウインターコンサート

札幌市民芸術祭「新人音楽会」にて大賞や奨励賞などを受賞した若手アーティストの演奏により、美術作品に囲まれながら音楽を楽しむ機会を提供するとともに、市民と地元アーティストとの交流や生演奏の魅力などを幅広く市民に紹介する。

期 日：令和2年12月12日(土)

会 場：第1展示室

⑧書っ！パフォーマンス

新規

展示室の広々とした空間を存分に活用し、高文連石狩支部書道専門部推薦の高校書道部員により、流行の音楽にのせた大人数で大型作品を書き上げる迫力のパフォーマンスを披露。そののち、部員の指導による書初め体験等を実施し、書道への興味と理解をより深める機会を提供する。

期 日：令和3年1月14日(木) 予定

会 場：第1～3展示室

⑨市民ギャラリー子ども映画会

子どもたちがアートに興味を持つ契機となるような芸術性の高いアニメーションを、家族連れや子どもの来館者が多い冬休みや春休み期間中に上映する。また、子どもの書道作品を展示する展覧会に合わせ、ロビーでミニ上映会を開催する。

期 日：冬休み子ども映画会 令和3年1月16日(土)

春休み子ども映画会 令和3年3月27日(土)

会 場：展示室

※ロビーでのミニ上映会は令和2年12月20日(日)、22(火)、23日(水)

⑩高文連石狩支部美術・書道展

新規

北海道高等学校文化連盟石狩支部との共催で、美術・工芸専門部および書道専門部の展覧会会期中に、生徒による市民を対象とした関連ワークショップを開催する。

期 日：令和2年8月4日(火)～9日(日)

会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2、予備展示室

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部美術専門部・書道専門部

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑪第64回札幌市中学校美術・書道展

学校教育に対する協力事業として、中学校での授業・部活動において制作した美術書道作品を展示し、美術書道教育の振興に寄与する。

期 日：令和2年11月11日(水)～15日(日)

会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2

主 催：札幌市中学校文化連盟

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑫中央区東地区連合町内会コンサート

地域住民の交流とまちづくり活動の理解促進を目的に、地元町内会との連携事業として、親子で楽しめるコンサートを開催。

期 日：令和2年10月7日(予定)

会 場：展示室

主 催：東地区連合町内会

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑬札幌圏大学生合同写真展

写真ライブラリー閉館後からの継続事業。写真文化の振興と普及のため、札幌近郊の各大学写真部による写真展を開催する。

期 日：調整中

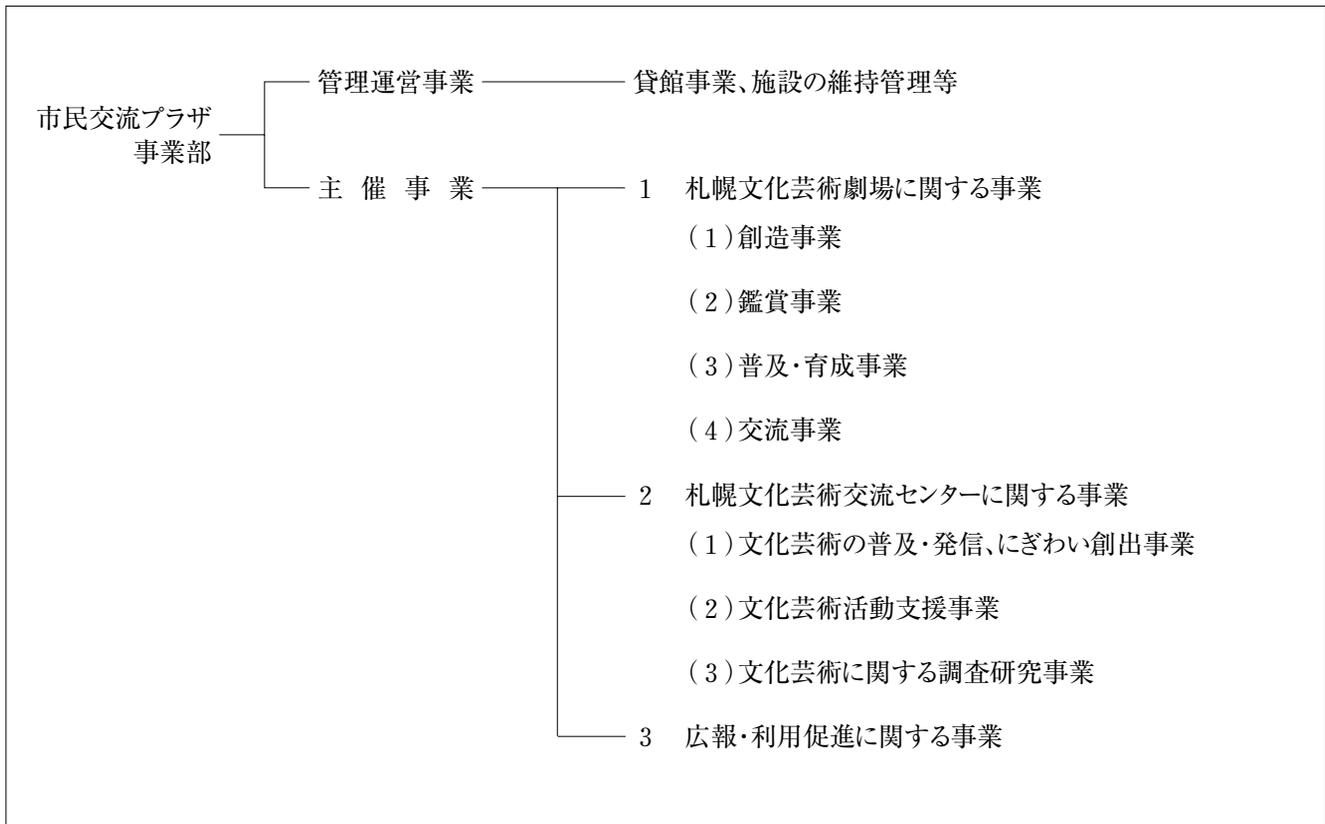
会 場：展示室

主 催：札幌圏大学生合同写真展 EX

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

IV. 市民交流プラザ事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			令和元年度見込	令和2年度目標	
利用状況	札幌文化芸術劇場	劇場	利用率	79.1%	80%
		クリエイティブスタジオ	利用率	89.1%	75%
		練習室等	利用率	65.1%	60%
	札幌文化芸術交流センター (SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モール等)		利用率	82.3%	75%
	総来館者数(札幌市図書・情報館含む)			2,000,000人	1,200,000人

【参考】

平成27年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：58.3%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「平成28年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

3. 主催事業

1 札幌文化芸術劇場に関する事業

(1) 創造事業

①〈hitaru オペラプロジェクト〉プレ事業 プッチーニ作曲 オペラ「蝶々夫人」

新規

市内で活動する実演芸術団体、出演者、舞台スタッフ等との共催で、オペラ公演を制作する。日本で最も有名なオペラの一つである「蝶々夫人」を上演する。

期 日：令和3年2月21日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

指 揮：柴田真郁

演 出：岩田達宗

出 演：管弦楽：札幌交響楽団 ほか

(2) 鑑賞事業

①ヨハン・シュトラウスⅡ世作曲 オペレッタ「こうもり」

ワルツ王ヨハン・シュトラウスⅡ世の作曲によるオペレッタの最高傑作「こうもり」公演を新国立劇場と提携して開催する。

期 日：令和2年12月13日(日)、15日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場

指 揮：クリストファー・フランクリン

演 出：ハインツ・ツェドニク

美術・衣裳：オラフ・ツォンベック

振 付：マリア・ルイーゼ・ヤスカ

照 明：立田雄士

出 演：ガブリエル・フォン・アイゼンシュタイン：ダニエル・シユムツツハルト

ロザリンデ：アストリッド・ケスラー

フランク：ピョートル・ミチンスキー

オルロフスキー公爵：アイゲル・アクメチーナ

アルフレード：村上公太

ファルケ博士：ルートヴィヒ・ミッテルハマー

アデーレ：マリア・ナザロワ

プリント博士：大久保光哉

フロッシュ：クルト・リドル

イーダ：平井香織

合唱：新国立劇場合唱団

バレエ：東京シティ・バレエ団

管弦楽：札幌交響楽団 ほか

②新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」

新国立劇場バレエ団によるチャイコフスキーの三大バレエ公演シリーズの第3弾として、バレエ「眠れる森の美女」を上演する。多くの市民に優美な舞台演出を実感していただくとともに、地元との関わりとして子役や助演のオーディションを検討する等、普及育成に寄与する。

期 日：令和2年11月14日(土)、15日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

振 付：ウエイン・イーグリング

出 演：新国立劇場バレエ団

管弦楽：札幌交響楽団

③ hitaru のひととき

市内中心部の地下鉄直結という優れた立地条件を活用するとともに、料金設定をおさえ、市民が気軽に楽しめるコンサートを実施する。これまでクラシック音楽やオーケストラのコンサートに馴染みのなかった層や、様々な分野とのコラボレーション等クラシックに限らない多様なジャンルの音楽を楽しみたい音楽ファン等の幅広い層を対象にしたコンサートを展開し、親しみやすい内容を提供することで、札幌文化芸術劇場 hitaru の知名度アップ等にも寄与する。

1) ～華麗なるディーヴァの競演～

新規

オペラ、ジャズの名曲を中心に、初夏の夜にふさわしいプログラムで日本初共演となる森麻季とケイコ・リーによるコラボレーション公演として実施する。

期 日：令和2年6月19日(金)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：ソプラノ：森麻季

ジャズヴォーカリスト：ケイコ・リー ほか

2) ～宇宙への招待～(仮称)

新規

大規模な編成と社会貢献を志す医療系大学生で結成する交響楽団はやぶさを招き、「宇宙」をテーマにしたコンサートを実施する。特に若年層をターゲットに、はやぶさ団員の学業と文化芸術等の目標の追求を両立する姿勢に共感を生むような内容により開催する。

期 日：令和2年9月19日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：指揮：垣内悠希

管弦楽：交響楽団はやぶさ ほか

3) ～クリスマスに贈る神秘のケルティック・コーラス～(仮称)

新規

クリスマスの季節にぴったりのケルト音楽を中心としたプログラムで、札幌でなかなか聴くことのできない、諸外国の伝統的な音楽や芸術を楽しめる機会を提供し、市民に多様な文化芸術への興味関心を持っていただく。また、ミュンヘンクリスマス市等も始まりクリスマスムードが高まる時期に開催することで、より気軽に劇場に足を運んでいただくことを目指す。

期 日：令和2年11月23日(月・祝)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：合唱：ANUNA

4)～明和電機ナンセンス楽器祭～(仮称)

新規

コンピューター制御で動く自動楽器や大きなロボットのような楽器等、ユニークな楽器で「技術の無駄使い」ともいえるパフォーマンスを披露するユニット明和電機を招き、ナンセンスな発想と、エンジニア魂を楽しむライブを実施する。

期 日：令和3年1月31日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：明和電機

④共催事業の誘致

1) モーリス・ベジャール・バレエ団「バレエ・フォー・ライフ」

新規

ロックバンド「クイーン」のヴォーカリスト、フレディ・マーキュリーと名バレエダンサー、ジョルジュ・ドンに触発されて誕生した本作品をスイスの名門バレエ団が上演する。

期 日：令和2年5月26日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

特別協力：株式会社テレビ北海道、オントナ

2) 第2回さっぽろ落語まつり

落語家・三遊亭円楽がプロデュースし福岡・博多で大成功を収めている落語まつりの札幌版。第2回となる今回は、総勢30名の落語家が出演し、札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール、共済ホールの3会場で3日間、計15公演行う。

期 日：令和2年5月29日(金)・30日(土)・31日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場、道新ホール、共済ホール

主 催：株式会社テレビ北海道、株式会社北海道新聞社、道新スポーツ、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

協 力：オフィスまめかな

3) ミュージカル「ミス・サイゴン」

新規

昨年、好評を博した「レ・ミゼラブル」に続く大型ミュージカル第2弾。今年は市村正親らの出演による「ミス・サイゴン」を4日間、計6公演上演する。

期 日：令和2年7月3日(金)～6日(月)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：株式会社北海道新聞社、北海道文化放送株式会社、道新スポーツ、株式会社エフエム北海道、株式会社道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

特別協力：株式会社テレビ北海道、オントナ

(3) 普及・育成事業

① オペラ・バレエプレイベント

オペラとバレエの公演前に、それぞれ評論家やアーティストを招聘し、作品解説や魅力を語っていたく等し、様々な角度からオペラやバレエに対する理解を深め、親しみをもっといただく機会を提供する。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ ほか

②新国立劇場バレエ団によるバレエワークショップ

新国立劇場バレエ団「眠れる森の美女」公演に合わせ、市民がバレエに対する理解を深め、興味を持つきっかけとして、同公演に出演する新国立劇場バレエ団によるワークショップを実施する。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

講 師：新国立劇場バレエ団

③青少年向けバレエ鑑賞事業

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学校2年生約2,000名を対象にした、青少年向けバレエ鑑賞事業を昨年度に続き実施。国内のみならず、世界の檜舞台でも喝采を浴びてきた東京バレエ団による、解説付きプログラムを上演予定。

期 日：令和2年9月2日(水)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：チャイコフスキー記念東京バレエ団

④クリエイティブスタジオ活用事業

市内文化芸術団体等と連携し、音楽・舞踊・演劇等様々なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を広く市民に提供し、創造的な文化芸術活動の普及と活性化を促進する。

1)クリエイティブスタジオシネマシリーズ(仮称)

注目の映画監督を招き、監督自らに影響を及ぼした映画の上映とレクチャーを実施する。表現者は映画をどう見ているのかという批評の重要性を知ることにより、映画鑑賞者の知見向上も目指す。

期 日：令和2年4月18日(土)、7月、9月、3月 調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：4月18日 黒沢清、7月、9月、3月 調整中

2)Noism Company Niigata

「りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館」を拠点に活動する日本初の公共劇場専属舞踊団「Noism」によるダンス公演を開催する。

期 日：令和2年7月2日(木)、3日(金)

会 場：クリエイティブスタジオ

演出・振付：金森穰

出 演：Noism

3)SIAF 連携

新規

令和2年12月19日(土)から3年2月14日(日)までの58日間、市内各所を会場に開催される札幌国際芸術祭にあわせ、札幌国際芸術祭実行委員会と連携し2つの展示を実施する。

Cod.Act ^{ピトン}「πTon」

期 日：令和2年12月19日(土)、20日(日)

演目調整中

期 日：令和2年1月

会 場：クリエイティブスタジオ

4) 地点「だれか、来る」

新規

21世紀のベケットの異名を持つ作家ヨン・フォッセの名作「だれか、来る」を、日本を代表する演出家、三浦基の演出により上演する。平成30年度にクリエイティブスタジオ活用事業として上演したサミュエル・ベケットの名作「ゴドーを待ちながら」の演劇史の流れを継ぎ、演劇の鑑賞事業として実施。

期 日：令和3年1月15日(金)、16日(土)

会 場：クリエイティブスタジオ

演 出：三浦基

出 演：地点

5) 北緯43°のリア(仮称)

新規

札幌で活躍する俳優・技術スタッフを中心として、クリエイティブスタジオで演劇作品を公益財団法人北海道演劇財団ほかとの共催で上演する。

期 日：令和3年2月26日(金)～3月5日(金)

会 場：クリエイティブスタジオ

6) Creative Opera Mix

昨年度からの継続事業として、オペラをテーマとする札幌独自の創造的作品を上演する。ストリートダンス、ジャズ、オペラ、DJ等、多様なジャンルが融合した新感覚の表現により、様々な層に実演芸術の楽しみを伝え、将来的な聴衆の掘り起こしを図る。

期 日：令和3年3月13日(土)、14日(日)

会 場：クリエイティブスタジオ

(4) 交流事業

① プラザフェスティバル

様々な客層が足を運びやすい環境を活用し、多様な交流を促進することを目的として、開館記念日である10月7日に近接する週末に実施するフェスティバル事業。音楽ライブにも用いられる音響機材を使い映画を上映する「爆音映画祭」のほか、モリヒコ、サッポロ・シティ・ジャズ等とも連携し、全館を挙げて市民を迎えるプログラムを実施する。

期 日：令和2年10月

会 場：館内各所

2 札幌文化芸術交流センターに関する事業

(1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

① ことばのいばしょ展(仮称)

新規

コミュニケーションの最も基本的な手段であり、文化芸術の諸ジャンルの基礎でもある「言葉」に着目し、美術・文学・音楽等複数分野の作品を通して、「言葉」にまつわる現代の多様な表現を紹介する展覧会。言葉への鋭敏な感覚を持った作家を取り上げ、言葉がその本来のあるいは新しい力を発揮する居場所としての作品を通して「言葉の力」について再考する。全国的に活躍する作家とともに札幌をおもな拠点に活動する作家を選出し、地元の文化芸術の紹介にもつなげる。

期 日：令和2年8月22日(土)～9月22日(火・祝)

会 場：SCARTSコート ほか

② 十A&T SCARTS ART&TECHNOLOGY Workshop Project～ぶらぶらっと

ユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ分野の加盟都市における文化芸術事業として、アート表現における「メディア」や「テクノロジー」に若いうちから触れてもらう実験的な試みとして実施。テーマに沿った講師を招き、ワークショップや展示等のプログラムを行う。小学校高学年以上が対象

期 日：年2回(7月、3月)

会 場：SCARTS スタジオ・モール ほか

③ 実演芸術鑑賞事業(仮称)

財団と連携協定を結ぶ大学の学生に演奏の場を提供し、人材育成につなげるとともに、市民が気軽に音楽に触れられる機会を提供することを目的に「大学連携コンサート(仮称)」を実施する。また、札幌を拠点に活動する出演者による、人形劇やコンテンポラリーダンスなどの無料の公演を行い、市民が多様なパフォーマンスアーツに出会う機会を提供する。

期 日：年5回程度

会 場：SCARTS コート

④ 連携事業

市民交流プラザ内をはじめ、当財団の他施設、大学や公共機関、既存の文化芸術事業などと連携し、それぞれの専門性や市民交流プラザの立地、設備などを生かした多彩な事業を展開する。これらの連携による開催を通して、事業の質的高まりや多方面への波及効果を図るとともに、市民がさまざまな文化芸術に触れられる機会の提供や、各施設と地域のにぎわい創出につなげる。

期 日：通年

会 場：SCARTS コート ほか

⑤ プラザフェスティバル[再掲]

市民交流プラザの開館記念月である10月ににぎわい創出のためのイベントを実施する。センター事業課では、マルシェをはじめ、にぎわい創出のためのイベントを開催予定。

期 日：令和2年10月

会 場：館内各所

⑥ さっぽろウインターチェンジ

雪や冬、寒さといった札幌の特徴をテーマとした展示やトーク等のプロジェクトを展開。札幌の冬季アートイベントであるさっぽろユキテラスやさっぽろ垂氷まつり、札幌国際芸術祭2020と連携し、さっぽろ雪まつり等で訪れる観光客も含め、様々な人々に札幌を見つめ直してもらう契機となる作品展示やトークイベントを開催予定。

期 日：調整中

会 場：調整中

⑦ 西2丁目地下歩道映像制作

市民交流プラザの入り口の一つである西2丁目地下歩道において、質の高い映像作品を公開していくことで、市民が文化芸術に親しむきっかけとする。

期 日：通年

会 場：西2丁目地下歩道

⑧ SCARTS 情報発信(インフォメーションカウンター)

市民が気軽に立ち寄り、文化芸術に関する情報の収集・発信ができる場を提供することを目的に、窓口にはスタッフを常駐させ、市内の文化イベント情報に関する問い合わせや、イベントチラシの持ち込みなどに対応する。また、文化芸術活動に関する軽微な相談への対応、SCARTS 相談サービス担当職員への取り次ぎなど、相談サービスとの連動を図る。

期 日：通年

⑨ SCARTS ウェブ

ウェブサイトを通して広く一般に SCARTS の活動を周知するとともに、文化芸術活動のために役立つ情報(市内文化イベント、市内アートスペース、助成金・公募等の情報)を集積して提供することで、アーティストや文化芸術団体の活動支援につなげる。また、相談サービスの対応ツールとしても活用する。

期 日：通年

(2)文化芸術活動支援事業

① SCARTS 相談サービス

情報提供を通してアーティストや文化芸術団体の活動を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、相談窓口を開設する。事前予約制で、アーティストや文化芸術団体からの問い合わせ(活動場所、広報手段、助成金等)に対する情報提供やアドバイスを行うとともに、アーティスト等を必要とする企業や団体とのマッチングを行う。

期 日：通年

② SCARTS レクチャーシリーズ

文化芸術にかかわる方や興味のある方を対象に、多彩な講師から、それぞれの活動に生かすことができる知識やスキルを学ぶ連続講座を行う。文化施設職員等文化事業企画者向けのアートマネジメント講座と、アーティスト向けの実践講座を実施する。

期 日：年5回

会 場：SCARTS コート ほか

③アートコミュニケーション事業

ボランティアな活動を通して文化芸術と人々をつなぎ、地域コミュニティの活性化に寄与する創造的な市民「アートコミュニケーター」を育成する。1期生の活動を引き続きサポートするとともに、令和元年度に募集した2期生に対して研修を行い、鑑賞サポートや情報発信といった基本の活動に加え、自主的な活動を開始し、コミュニケーションの場づくりを図る。

期 日：通年

④公募企画事業

さまざまな主体による施設の多様な活用方法を示すことによって、貸館の利用促進および市内の文化活動の振興を図ることを目的に実施する。文化芸術に関する事業を行う団体、民間事業者、個人を対象に幅広く公募し、SCARTS との共催事業として行う。SCARTS では一部の費用負担や技術的支援を行う。令和2年度は前年度に採択した3事業を実施する。また、次年度に開催する事業を公募する。

期 日：令和2年5月～7月

会 場：SCARTS コート、SCARTS スタジオ、SCARTS モール

⑤助成事業

新規

札幌の文化芸術活動を支え、育てる拠点としての機能を踏まえ、SCARTS が札幌市から交付される補助金を財源として、新たな助成事業を実施する。

令和2年度は募集・審査・採択までを行い、令和3年度から助成金を交付する予定。

期 日：通年

(3)文化芸術に関する調査研究事業

①調査研究事業

今後の SCARTS の活動に役立つ先進的な他都市の事例や情報等を委託調査及び担当職員によるヒアリング等により調査研究し、成果を蓄積していく。

期 日：通年

② SCARTS レポート(活動記録集)

SCARTS の年間の活動を記録し、広く公開することにより、SCARTS の活動を周知し、市民の施設利用ニーズ、相談ニーズの掘り起こしにつなげることを目的に、年1回記録集を発行する。活動記録にとどまらず、SCARTS で行った講座の講義録や、外部専門家からの寄稿文、札幌の文化状況に関するデータ等を掲載し、市内のアーティスト・文化団体等の活動に役立つものとする。令和2年度は平成30年度および令和元年度分の活動記録集の発行と当年度分の編集作業を実施する。

期 日：通年

3 広報・利用促進に関する事業

(1)広報

①広報誌作成と事業広報との連携強化

圏域住民のプラザへの理解と支持を得るため、情報誌「WAVE TIMES」を発行しプラザの取り組みを広く周知する。また、劇場・センターの各事業課および札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業やセンターの機能等についてプラザを一体的に広報する。さらにプラザスケジュール「PLAS」を発行することで、主催公演等のチケット販売促進につなげる。

期 日：通年

②ホームページ、SNS 等を活用した広報

ホームページ、SNS 等を通じて、即時性のある情報発信を行うとともに、紙媒体だけでは伝わりづらい公演や事業の詳細な情報提供を行う。また、外部業者との連携も図りながら公演等のチケット販売サイトへの誘導を行う。

期 日：通年

③メディア対応とプレスリリース

プラザについての取材依頼、パブリシティ(無料)掲載等に対応しプラザの認知度を高めるとともに、プラザ全体で行われる事業や共催事業等のプレスリリースを行い周知やチケット販売促進につなげる。

期 日：通年

④その他の広報制作物

プラザ周辺の賑わい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぽ MAP」や「ホテルインフォメーション」、控室や練習室等の貸室利用促進のための広報物などを作成し、広く周知する。

期 日：通年

(2)利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、地元興業主との情報交換を密にするほか、「ご存知ですか？プラザの貸室いろいろ」を作成・配布して会議や練習での利用を促す。また、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致に向けた取り組みを進める。

期 日：通年

②会員制度の運営

会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」のさらなる周知を図り、継続会員の確保と新規会員の獲得に努める。また、会員へのサービス提供として、主催公演の先行発売をはじめ、札幌文化芸術劇場 hitaru 施設見学会や主催公演のリハーサル見学等の実施、近隣ホテルや飲食店での優待等、魅力ある特典を充実させ、安定的な制度運営を行う。

期 日：通年

③協賛制度の運営

「札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー」制度のさらなる周知を進め、既存の法人・個人スポンサーの継続確保と、新規スポンサーの獲得に努める。

期 日：通年

2 芸術文化を推進するための付帯事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 駐車場の管理運営

札幌市郊外にある芸術の森では、施設利用者の便宜を図るため、駐車場の管理運営業務を行う。

利用状況	芸術の森		平成30年度実績	令和元年度見込	令和2年度目標
	駐車場	利用台数	49,700台	78,000台	70,000台

※平成30年11月26日～平成31年4月26日、札幌芸術の森美術館設備改修工事のため休館。

2 各種の活動及び発表の場の提供

教育文化会館と市民交流プラザは、財団主催事業や芸術文化のための利用等公益目的事業に関する利用に供する以外にも、学術会議や講演会のための利用等多様な活動の場としても施設の提供を行っていく。

3 その他公益目的事業の推進に資する事業

レストランの委託経営やグッズの販売、自動販売機の設置により施設利用者へのサービスの向上に努める。